

## 資料目次

資料 1	高校生を対象としたアンケート調査 集計結果 他	P. 2
資料 2	18 歳人口（男女別）の将来推計	P. 13
資料 3	大学入学者数等の将来推計について	P. 14
資料 4	入学状況（データで見る熊本大学 2024 抜粋）	P. 16
資料 5	18 歳人口予測 大学・短大・専門学校進学率 地元残留率の 動向	P. 17
資料 6	熊本大学共創学環 競合校の入試状況（令和 4～6 年度）	P. 26
資料 7	熊本大学各学部・学環の定員充足等の状況（令和 2～6 年度）	P. 28
資料 8	共創学環案内冊子（パンフレット）	P. 29
資料 9	共創学環案内冊子（パンフレット）（抜粋）	P. 37
資料 10	企業・自治体等を対象としたアンケート調査 集計結果 他	P. 38

## 高校生を対象としたアンケート調査 集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

Q1. あなたが在籍している高校名をご入力ください。

選択項目	回答数	構成比
熊本県		
1 済々黌高等学校	261	3.5%
2 熊本高等学校	349	4.6%
3 第一高等学校	293	3.9%
4 第二高等学校	365	4.8%
5 熊本西高等学校	243	3.2%
6 熊本北高等学校	273	3.6%
7 東稜高等学校	321	4.2%
8 玉名高等学校	232	3.1%
9 鹿本高等学校	136	1.8%
10 菊池高等学校	24	0.3%
11 大津高等学校	220	2.9%
12 小国高等学校	30	0.4%
13 宇土高等学校	105	1.4%
14 八代高等学校	218	2.9%
15 水俣高等学校	73	1.0%
16 人吉高等学校	151	2.0%
17 天草高等学校	187	2.5%
18 熊本商業高等学校	176	2.3%
19 熊本工業高等学校	320	4.2%
20 熊本農業高等学校	235	3.1%
21 必由館高等学校	298	3.9%
22 千原台高等学校	117	1.5%
23 九州学院高等学校	220	2.9%
24 真和高等学校	160	2.1%
25 熊本学園大学付属高等学校	227	3.0%
26 熊本マリスト学園高等学校	50	0.7%
27 ルーテル学院高等学校	233	3.1%
28 文徳高等学校	220	2.9%
福岡県		
29 伝習館高等学校	179	2.4%
30 久留米高等学校	169	2.2%
31 大牟田高等学校	91	1.2%
32 明善高等学校	24	0.3%
佐賀県		
33 佐賀西高等学校	74	1.0%
34 佐賀清和高等学校	23	0.3%
長崎県		
35 島原高等学校	181	2.4%
36 長崎北陽台高等学校	92	1.2%
37 長崎西高等学校	6	0.1%
大分県		
38 大分舞鶴高等学校	269	3.6%
39 大分上野丘高等学校	239	3.2%
宮崎県		
40 宮崎北高等学校	53	0.7%
41 妻高等学校	1	0.0%
鹿児島県		
42 甲南高等学校	256	3.4%
43 鶴丸高等学校	90	1.2%
44 鹿児島中央高等学校	76	1.0%
既卒	5	0.1%
合計	7,565	100.0%

Q2. あなたの現在の学年をお答えください。

選択項目		回答数	構成比
1	高校1年	23	0.3%
2	高校2年	7,533	99.6%
3	高校3年	4	0.1%
4	既卒	5	0.1%
合計		7,565	100.0%

※Q3以降は、Q2で高校2年と回答したものを対象とした集計結果である。

Q3. あなたが在籍している高校のクラス・コースをお答えください。

選択項目		回答数	構成比
1	文系クラス・コース	3,000	39.8%
2	理系クラス・コース	3,269	43.4%
3	その他	1,264	16.8%
合計		7,533	100.0%

Q4. あなたの性別をお答えください。

選択項目		回答数	構成比
1	男性	3,522	46.8%
2	女性	3,901	51.8%
3	回答しない	110	1.5%
合計		7,533	100.0%

Q5. あなたは、卒業後の進路をどのように考えていますか。現在検討している進路全てを選択してください。(複数選択可)

選択項目		回答数	構成比
1	大学	6,397	76.0%
2	短期大学	237	2.8%
3	専門職大学	120	1.4%
4	専門職短期大学	47	0.6%
5	専門学校	884	10.5%
6	就職	648	7.7%
7	その他	83	1.0%
合計		8,416	100.0%

Q6. 志望する大学等の設置者の希望を選択してください。現在希望している設置者全てを選択してください。(複数選択可)

Q5で「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」のいずれかを選択していない方は、『該当なし』を選択してください。

選択項目		回答数	構成比
1	国立	4,527	42.5%
2	公立	2,548	23.9%
3	私立	2,564	24.1%
4	該当なし	1,005	9.4%
合計		10,644	100.0%

Q7. 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。興味のある学問分野全てを選択してください。  
(複数選択可)

選択項目		回答数	構成比
1	文学	824	5.1%
2	史学	299	1.8%
3	哲学	321	2.0%
4	その他人文学	307	1.9%
5	法学・政治学	672	4.1%
6	商学・経済学	1,172	7.2%
7	社会学	478	2.9%
8	その他社会科学	123	0.8%
9	数学	282	1.7%
10	物理学	264	1.6%
11	化学	309	1.9%
12	生物	298	1.8%
13	地学	79	0.5%
14	その他理学	80	0.5%
15	機械工学	640	3.9%
16	電気通信工学	620	3.8%
17	土木建築工学	443	2.7%
18	応用化学	220	1.4%
19	応用理学	129	0.8%
20	経営工学	173	1.1%
21	その他工学	175	1.1%
22	農学	277	1.7%
23	農芸化学	68	0.4%
24	農業工学	72	0.4%
25	農業経済学	63	0.4%
26	林学	36	0.2%
27	獣医学畜産学	124	0.8%
28	水産学	78	0.5%
29	その他農学	33	0.2%
30	医学	488	3.0%
31	歯学	154	0.9%
32	薬学	413	2.5%
33	看護学	620	3.8%
34	その他保健	471	2.9%
35	商船学	32	0.2%
36	家政学	54	0.3%
37	食物学	217	1.3%
38	被服学	60	0.4%
39	住居学	34	0.2%
40	その他家政	8	0.0%
41	教育学	530	3.3%
42	小学校課程	320	2.0%
43	中学校課程	441	2.7%
44	高等学校課程	372	2.3%
45	養護学校課程	106	0.7%
46	幼稚園課程	219	1.3%
47	体育学	218	1.3%
48	特別支援教育課程	89	0.5%
49	その他教育	51	0.3%
50	美術	204	1.3%
51	デザイン	359	2.2%
52	音楽	216	1.3%
53	その他芸術	115	0.7%
54	教養学	49	0.3%
55	総合科学	113	0.7%
56	人文・社会科学	156	1.0%
57	国際学(国際学部)	452	2.8%
58	人間科学	198	1.2%
59	その他	462	2.8%
60	不明	358	2.2%
合計		16,238	100.0%

ここからは別紙・共創学環(仮称)リーフレットを参照の上、お答えください。

Q8. 共創学環(仮称)について、あなたがどの程度魅力を感じるか、お答えください。

選択項目		回答数	構成比
1	とても魅力を感じる	1,248	16.6%
2	ある程度魅力を感じる	3,882	51.5%
3	あまり魅力を感じない	1,859	24.7%
4	全く魅力を感じない	544	7.2%
合計		7,533	100.0%

Q9. 共創学環(仮称)のどのような点に魅力を感じますか。以下の項目のうち、魅力を感じるものを選択してください。(複数回答可)

選択項目		回答数	構成比
1	共創学環が育成する人材像	1,199	10.4%
2	産学官金連携実践教育	587	5.1%
3	コミュニケーション実践教育	2,093	18.1%
4	文理融合型教育	1,523	13.2%
5	デジタル活用実践教育	1,024	8.9%
6	地域イノベーションコース	1,062	9.2%
7	グローバルイノベーションコース	1,703	14.7%
8	Kumamoto探究入試	390	3.4%
9	その他	18	0.2%
10	特に魅力は感じない	1,948	16.9%
合計		11,547	100.0%

Q10. 共創学環(仮称)が開設された場合、受験を希望しますか。現在のあなたの考えに近い選択肢を次より1つ選択してください。

選択項目		回答数	構成比
1	第一志望として受験する	169	2.2%
2	第二志望として受験する	386	5.1%
3	第三志望として受験する	686	9.1%
4	受験しない	6,292	83.5%
合計		7,533	100.0%

Q11. 共創学環(仮称)を受験した合格した場合、入学を希望しますか。現在のあなたの考えに近い選択肢を次より1つ選択してください。

選択項目		回答数	構成比
1	入学する	500	6.6%
2	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,467	19.5%
3	入学しない	1,266	16.8%
4	該当なし	4,300	57.1%
合計		7,533	100.0%

令和6年12月18日

各高等学校長 殿

国立大学法人熊本大学長

小川 久雄（公印省略）

令和8年度新設・改組予定学部に関するアンケート調査へのご協力について（依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育研究活動につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学では、令和8年4月に新たな学部相当組織として「共創学環（仮称）」を新設し、さらに、佐賀大学との連携した教育学部共同教員養成課程及び文学部の一学科改組を予定しております。

現在、共創学環の設置、教育学部及び文学部の改組に向けて、文部科学省への設置申請手続きを進めているところであり、申請に際しては、学生の確保の見通しについて書類を作成し説明することが求められております。

ついては、貴校の2年生を対象にアンケート調査を実施させていただきたく存じますので、お忙しい中、大変恐縮ではございますが、アンケート実施にご協力くださいますようお願い申し上げます。

敬具

## 共創学環(仮称)に関するアンケートについて

熊本大学では、産学官金連携による文理融合教育を通じて、地球規模の視野と地域の視点で考え行動し、共生共創する地域をデザインできる課題発見・設定・解決型人材並びに社会イノベーションを創出する人材育成を目標とした「共創学環(仮称)」を令和8年4月に設置することを構想しています。

この「共創学環」は学部相当の教育組織で、卒業により通常の学部と同じ「学士」の学位が授与されます。

本アンケートは、高校生の皆様に、進路選択や興味関心がある分野、「共創学環」への興味関心などをお伺いし、今後の検討を進めていくための参考とするものです。

については、以下の回答方法に基づき、アンケートへの回答にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、本アンケート調査は匿名で実施し、統計資料としてのみ活用するため、個人を特定することはありません。また、本アンケートへの回答内容は、今後の入学者選抜に一切影響しません。

【対象学年】 2年生

【アンケート回答方法】

- ① 右のQRコードを読み込み、アンケートの回答画面に進んでください。



※以下のURLからでも回答できます。

<https://www.ocans.jp/kyousou-kumamoto/enquete?eid=DC1nNmHG>

- ② 別添のリーフレットを適宜参照しながら、アンケートに回答してください。

**回答期限【令和7年1月31日(金)まで】**

※共創学環(仮称)は現在、設置構想中であり、今後内容を変更する場合があります。

## 熊本大学 共創学環（仮称）に関するアンケート

熊本大学では、2026年4月開設に向けて、「共創学環（仮称）」の設置計画を構想中です。リーフレットを参照の上、共創学環（仮称）への進学意向に関する調査にご協力をお願いいたします。

なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。取得した情報については、統計的に処理の上、回答をそのままの形で公表すること及び個人が特定できる形で公表することは一切ありません。

また、回答内容は、今後の入学者選抜に一切影響しません。

※設置計画は予定であり、今後内容に変更が生じる可能性があります。

Q1. あなたが在籍している高校名をご入力ください。 (必須)

既卒の方は、「既卒」と入力してください。

Q2. あなたの現在の学年をお答えください。 (必須)

高校1年	高校2年	高校3年	既卒
------	------	------	----

Q3. あなたが在籍している高校のクラス・コースをお答えください。 (必須)

文系クラス・コース	理系クラス・コース	その他 <input type="text"/>
-----------	-----------	-----------------------------

Q4. あなたの性別をお答えください。 (必須)

男性	女性	回答しない
----	----	-------

Q5. あなたは、卒業後の進路をどのように考えていますか。現在検討している進路全てを選択してください。 (複数選択可) (必須)

大学	短期大学	専門職大学	専門職短期大学
専門学校	就職	その他 <input type="text"/>	

Q6. 志望する大学等の設置者の希望を選択してください。現在希望している設置者全てを選択してください。 (複数選択可) (必須)

Q5で「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」のいずれかを選択していない方は、『該当なし』を選択してください。

国立	公立	私立	該当なし
----	----	----	------

Q7. 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。興味のある学問分野全てを選択してください。（複数選択可）（必須）

人文科学／社会科学／理学／工学／農学／保健／商船／家政／教育／芸術／その他

人文科学     社会科学     理学     工学     農学     保健  
 商船     家政     教育     芸術     その他

上記分類にチェックを入れると、その分類の選択肢がグループ化されます。

文学	史学	哲学	その他人文学
法学・政治学	商学・経済学	社会学	その他社会科学
数学	物理学	化学	生物
地学	その他理学	機械工学	電気通信工学
土木建築工学	応用化学	応用理学	経営工学
その他工学	農学	農芸化学	農業工学
農業経済学	林学	獣医学畜産学	水産学
その他農学	医学	歯学	薬学
看護学	その他保健	商船学	家政学
食物学	被服学	住居学	その他家政
教育学	小学校課程	中学校課程	高等学校課程
養護学校課程	幼稚園課程	体育学	特別支援教育課程
その他教育	美術	デザイン	音楽
その他芸術	教養学	総合科学	人文・社会科学
国際学（国際学部）	人間科学	その他	不明

ここからは別紙・共創学環（仮称）リーフレットを参照の上、お答えください。

Q8. 共創学環（仮称）について、あなたがどの程度魅力を感じるか、お答えください。（必須）

とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない
-----------	------------	------------	-----------

Q9. 共創学環（仮称）のどういった点に魅力を感じますか。以下の項目のうち、魅力を感じるものを選択してください。（複数回答可）（必須）

共創学環が育成する人材像	産学官金連携実践教育	コミュニケーション実践教育	文理融合型教育
デジタル活用実践教育	地域イノベーションコース	グローバルイノベーションコース	Kumamoto探究入試
その他 <input type="text"/>	特に魅力は感じない		

Q10. 共創学環（仮称）が開設された場合、受験を希望しますか。現在のあなたの考えに近い選択肢を次より1つ選択してください。（必須）

第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望として受験する	受験しない
-------------	-------------	-------------	-------

Q11. 共創学環（仮称）を受験した合格した場合、入学を希望しますか。現在のあなたの考えに近い選択肢を次より1つ選択してください。（必須）

Q10で「受験しない」を選択された方は、『該当なし』を選択してください。

入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない	該当なし
------	---------------------------	-------	------

送信確認

本サイトは、SSL/TLSによる暗号化通信に対応しています。

## アドミッション・ポリシー（抜粋）

求める学生像

地域社会から国際社会に至る様々な課題解決に貢献し、社会イノベーションを担うことができる次のような人を求めます。

1. 地域社会から国際社会に至る様々な課題の解決に関心をもち、新しい価値創出に挑戦しようとする意欲が高い人
2. 課題解決に必要な知識や技能を主体的に探究し、身に付けようとする意欲が高い人
3. 背景や考え方が異なる人と進んで協力し、共に問題の解決に取り組むことへの強い意欲を持っている人
4. 営利・非営利を問わず、組織体の経営や起業することに深い関心を持っている人
5. 語学力（英語、中国語、韓国語等）を高め、外国語によるコミュニケーション力を身に付けようとする意欲が高い人

## 入試情報 他（予定）

入学定員：80名・学位：学士（学術）

募集人員		選抜方式
40	一般選抜	前期日程（※1） Kumamoto探究入試（※1）
25	総合型選抜	国際バカロレア入試（※2） 海外在住者対象（※2） 帰国生徒対象（※2） 私費外国人留学生対象（※2）
15	学校推薦型選抜 I（※2）	学校推薦型選抜 I（※2）

※1 大学入学共通テストを課す ※2 大学入学共通テストを課さない

## 学生納付金（令和6年度現在）

入学料（予定額）	282,000円	授業料（予定額）	年額535,800円（半期267,900円）
----------	----------	----------	------------------------

※授業料の改定が行われた場合には、改定時から新しい授業料が適用されます



熊本大学黒髪キャンパスまでのアクセス

- 飛行機（阿蘇くまもと空港まで）  
東京から——約2時間  
名古屋から——約1時間30分  
大阪から——約1時間30分  
※ 熊本市内への移動は、空港リムジンバスを利用
- 新幹線（JR熊本駅まで）  
新大塚駅から——約3時間  
博多駅から——約3.5～5.0分
- バス  
JR熊本駅から：産交バス「楠田地」または「光の森産交」行き（桜町バスターミナル経由）乗車  
熊本大学前「下車」  
桜町バスターミナルから：産交バス「楠田地」または「光の森産交」行き乗車「熊本大学前」下車



## 新学環設置準備室

〒860-8555 熊本市中心区黒髪2-39-1  
TEL:096-342-2309, 2031, 2032  
E-mail: kyoso-gakkan@jimu.kumamoto-u.ac.jp  
https://www.kumamoto-u.ac.jp/

つなぐ、  
ひろがる、  
きりひらく

## 共創学環

School of Social Innovation  
(仮称)

令和8年4月開設予定



# つなぐ、ひろがる、きりひらく

激動。それが、キミが生きてきた時代。そして、生きていく時代だ。地域も、ビジネスも、国際社会も、目まぐるしく変化する。驚くほどのスピードとスケールで。大事なものは、それを楽しめるかどうか。キミ次第だ。「共創学環」は、そのための舞台。まわりには、ともに歩む仲間もいる。大学の中だけに留まらなくていい。夢中で進めば、目の前の世界がパツとひらけてくる。どんなに大きな壁があっても、突破口はかならず見つかるだろう。その先に新しい社会を創れるはずだ。さあ、未知なる舞台へ踏み出そう。キミが向かう先に、まっすぐに道はのびている。

## 共創学環（仮称）

### 地域から、世界から、社会課題を解決する人へ。

地域社会から国際社会まで、現代には早期解決が困難な課題が数多く存在します。これらを解決し、持続可能な社会を創るためには、社会を構成する多数の人たちと共に協力して大きな力を生み出すことが重要です。2026年、本学は学部に対応する組織として『共創学環』を設置します。身に付くのは、文理融合の学際的な専門知識・多面的な思考力はもちろん、経営・マネジメント力、国際的なコミュニケーション力、データサイエンス力、そして身に付けた能力を実社会で活かす実践力。地球規模の視野と地域の視点で考え行動し、共生共創する地域をデザインできる課題発見・設定・解決型人材並びに社会イノベーションを創出する人材を養成します。



#### 地域イノベーションコース

自治体、企業等の課題解決について実地研修を通して学び、人と地域環境に働きかけることで共生共創社会を創成していくための環境を整備するコーディネート力およびその課題解決能力を身に付けます。



#### グローバルイノベーションコース

海外での活動等を通じて、異なる価値観の人々や多様な文化・専門分野の人々と連携して職務を遂行するために必要な教養を学び、地域間の課題をグローバルに解決する能力を身に付けます。

### 産学官金連携実践教育

民間企業(産)、教育・研究機関(学)、政府・地方自治体(官)、金融機関(金)の研究者・実務家を招いた授業。実際に社会課題の解決に取り組む方々から経営・マーケティングをダイレクトに学び、実践力を高めます。

#### 経営・マネジメント力 社会実践力

共創プロジェクト演習Ⅰ,Ⅲ,Ⅳ / 地域共創プロジェクト演習 / グローバル共創プロジェクト演習 / 経営戦略論 / マーケティング論 / ローカルイノベーション育成論Ⅱなど

- 社会実践演習・海外研修
- 産学官金連携
- 経営・マーケティング

#### 学際的な専門知識 多面的な思考力

経済地理学 / 地域経済論 / まちづくり入門 / 防災・減災入門 / くまもと流域圏の自然と生物多様性 / 韓国語現代文化論 / 現代台湾研究 / 地域社会学概論Ⅱ / 文化史概論Ⅱなど

- 自然科学・生命科学
- 経済公共政策
- 多文化共生 総合人間歴史

### 文理融合型教育

文学部、法学部、理学部、工学部、熊本創生推進機構など、各分野のプロフェッショナルによる授業。文・理の両方を学ぶことで、ものごとを多面的に捉える力を養い、社会課題の発見・解決する能力を高めます。

### コミュニケーション実践教育

英語・中国語・韓国語等の実践的な語学力と、対話の軸となるプレゼン・ディベート力を高める授業。世界に通用するコミュニケーションを学び、様々なトラブルの解決や協力を集める能力を高めます。

#### コミュニケーション力 外国語運用力

ロジカルシンキング・クリティカルシンキング / 総合実践英語、中国語、韓国語 / リーダーシップスキル / 社会心理学 / ディベート入門、アドバンスド・ディベート / ディアローグ実践Ⅱ など

- 実践英語・中国語・韓国語
- 心理学・ロジカルシンキング
- ディベート・ディアローグ

## 共創学環

#### データサイエンス力

社会課題解決のためのデータサイエンス基礎 / データマイニング入門 / 社会課題解決のためのデータサイエンス応用 / データマイニング実践 / ビジネス統計学 / 企業から学ぶICT・DX活用論 など

- 課題設定
- データ収集
- データ分析

### デジタル活用実践教育

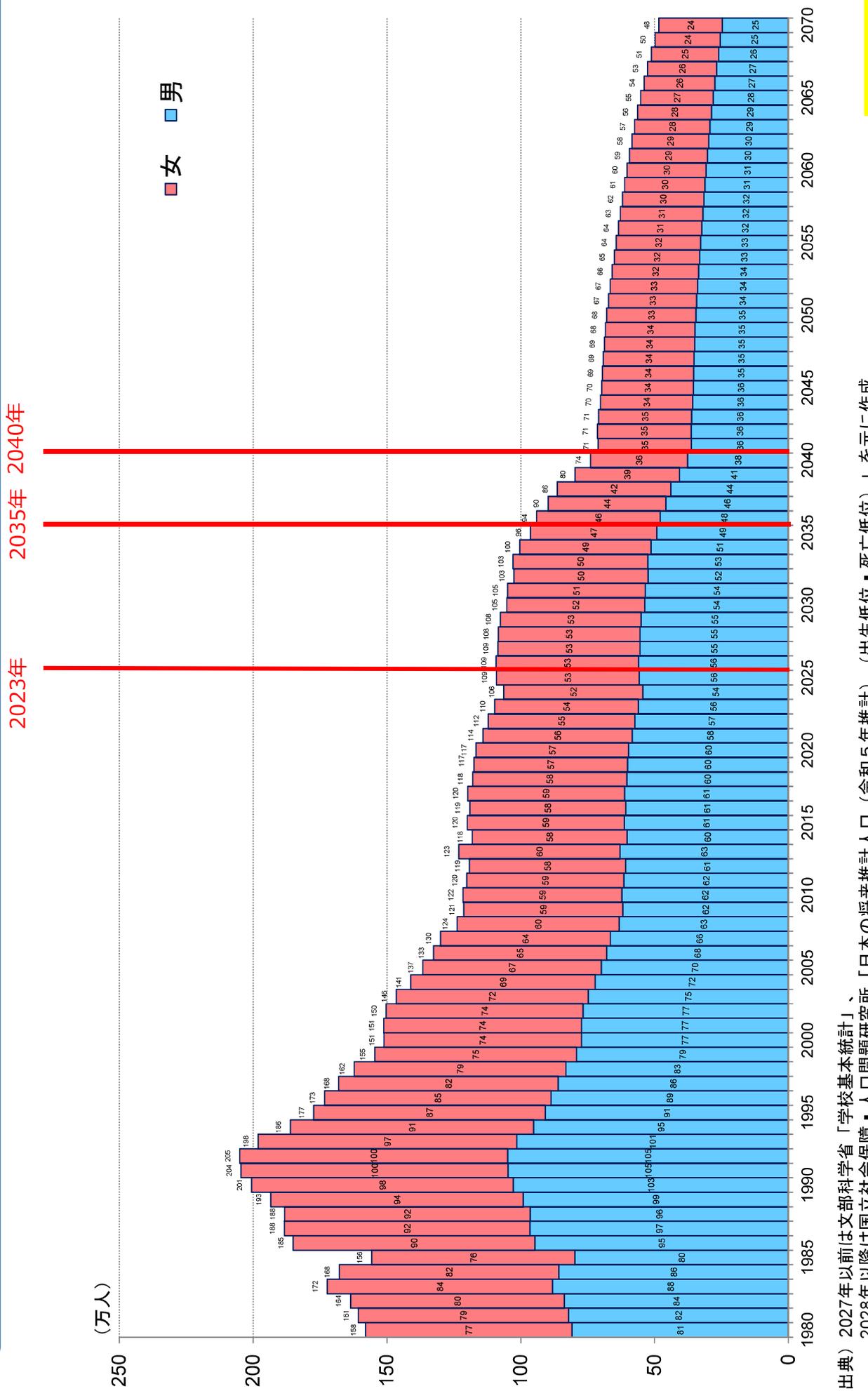
統計学や機械学習、プログラミングの理論を活用したデータの収集・解析方法を学ぶ授業。膨大なデータから有益な洞察を導き出すノウハウを学び、社会イノベーションを創り出す企画提案力を高めます。

地球規模の視野と地域に根ざした視点、  
文理の知を融合し、周囲を巻き込み  
持続可能な社会を共に創り出す人材へ。



# 18歳人口(男女別)の将来推計

- 我が国の18歳人口の推移を見ると、2005年には約137万人であったものが、現在は約109万人まで減少している。
- 今後、2035年には初めて100万人を割って約96万人となり、さらに2040年には約74万人にまで減少するという推計もある。



(出典) 2027年以前は文部科学省「学校基本統計」、  
2028年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)(出生低位・死亡低位)」を元に作成

# 大学入学者数等の将来推計について【推計の考え方】①

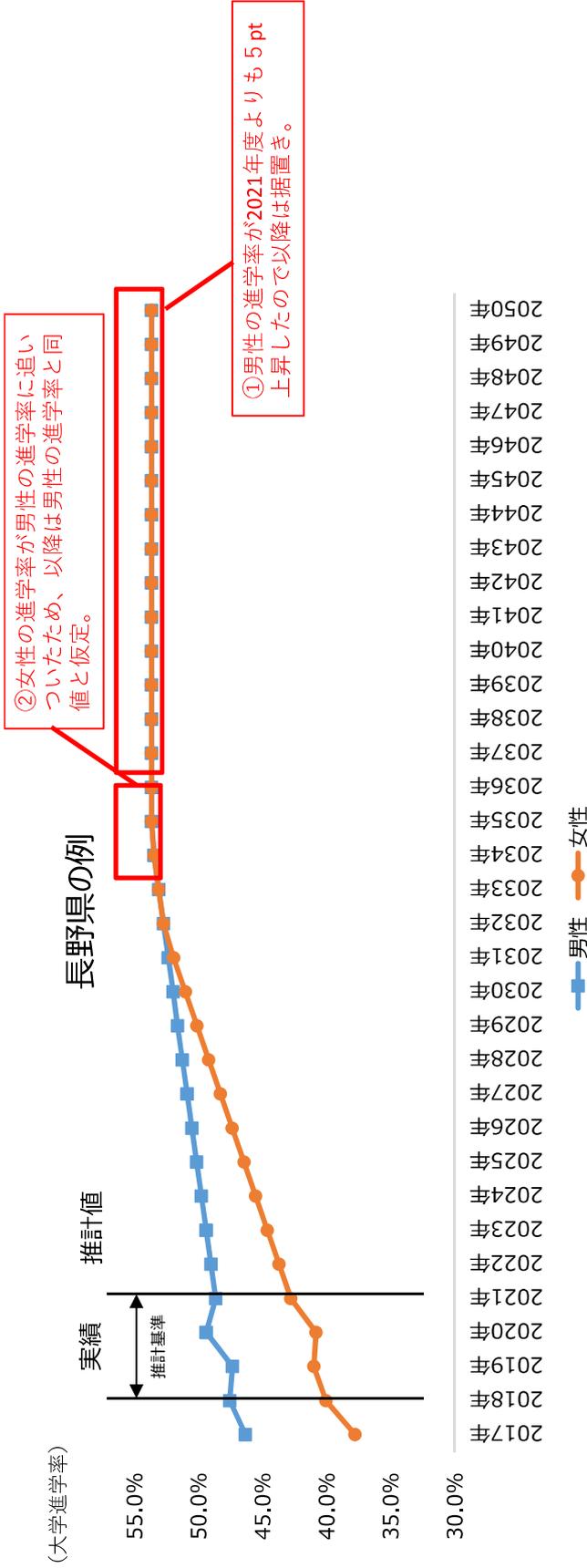
将来の大学入学者数 (E) は、推計18歳人口 (B) に推計大学進学率 (A) を掛けて算出される各都道府県からの大学進学者数 (C) に、外国人留学生 (D) 等を足すことによって求められる。

## 推計の考え方

### A. 大学進学率の推計について

- 2018年度～2021年度における都道府県別、男女別の大学進学率の伸び率によって今後2050年まで大学進学率が上昇すると仮定して都道府県別に推計。  
(例外)

- ① 男性の進学率が2021年度と比較して5pt以上上回った場合、+5ptを上限として以降据置き。
- ② 女性の進学率が男性の進学率を上回った場合、以降を男性の進学率と同値と仮定。
- ③ 進学率伸び率がマイナスの場合、2021年度の大学進学率が今後維持されると仮定。



# 大学入学者数等の将来推計について【推計の考え方】②

## B.18歳人口の推計について

- 2040年から2050年までの18歳人口について以下の推計方法により都道府県別に18歳人口を推計。  
日本の将来推計18歳人口（国立社会保障・人口問題研究所の推計）を2040年の都道府県比率※で案分  
※ 2021年度中の出生者数に各都道府県の生存率を乗算することにより、大学等に入学者数が想定される2040年4月時点の18歳人口の都道府県比率を算出

## C.各都道府県からの大学進学者数

- 各都道府県の推計18歳人口 (B) に各都道府県の大学進学率 (A) を掛けたものを合計することにより算出。

## D.外国人留学生の入学者数の推計について

- 2020年度～2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響により外国人留学生数が一時的に激減したことを踏まえ、2019年度の外国人留学生数が維持されると推定。

## E.大学入学者数の推計について

- 各推計値に基づく (B) × (A) による都道府県別の大学進学者数の合計 (C) に (D) 及びその他を足したものが2040年以降の大学入学者数の推計値となる。  
※その他は高等学校卒業程度認定試験合格者・専修学校高等課程修了者で大学に進学した者（各年の進学者数の推計値に2019年の進学者数に占めるその他の比率を掛けることにより算出）

### 【(例) 2040年の大学入学者数推計】

#### (B.18歳人口推計)

北海道18歳人口 (男性) 13,031人 × 北海道進学率 (男性) 56.9% = 7,413人  
北海道18歳人口 (女性) 12,408人 × 北海道進学率 (女性) 56.9% = 7,059人  
青森県 ……  
……

沖縄県18歳人口 (男性) 6,699人 × 沖縄県進学率 (男性) 47.5% = 3,181人  
沖縄県18歳人口 (女性) 6,383人 × 沖縄県進学率 (女性) 47.5% = 3,031人

#### (A.大学進学率推計)

北海道進学率 (男性) 56.9% = 7,413人  
北海道進学率 (女性) 56.9% = 7,059人

北海道進学者数 14,472人  
……  
沖縄県進学者数 6,212人

大学進学率 (全国) 59.6%  
(男性) 61.2% (女性) 57.9%

(C.2040年の各都道府県からの大学進学者数)

**440,489人**

(D.2040年の推計外国人留学生入学者数)

(その他)

**440,489人** + 17,096人

+ 2,172人

=

(E.2040年の推計大学入学者数)  
**459,757人**

※四捨五入の関係上、四則演算の値と記載の数値は必ずしも一致しない

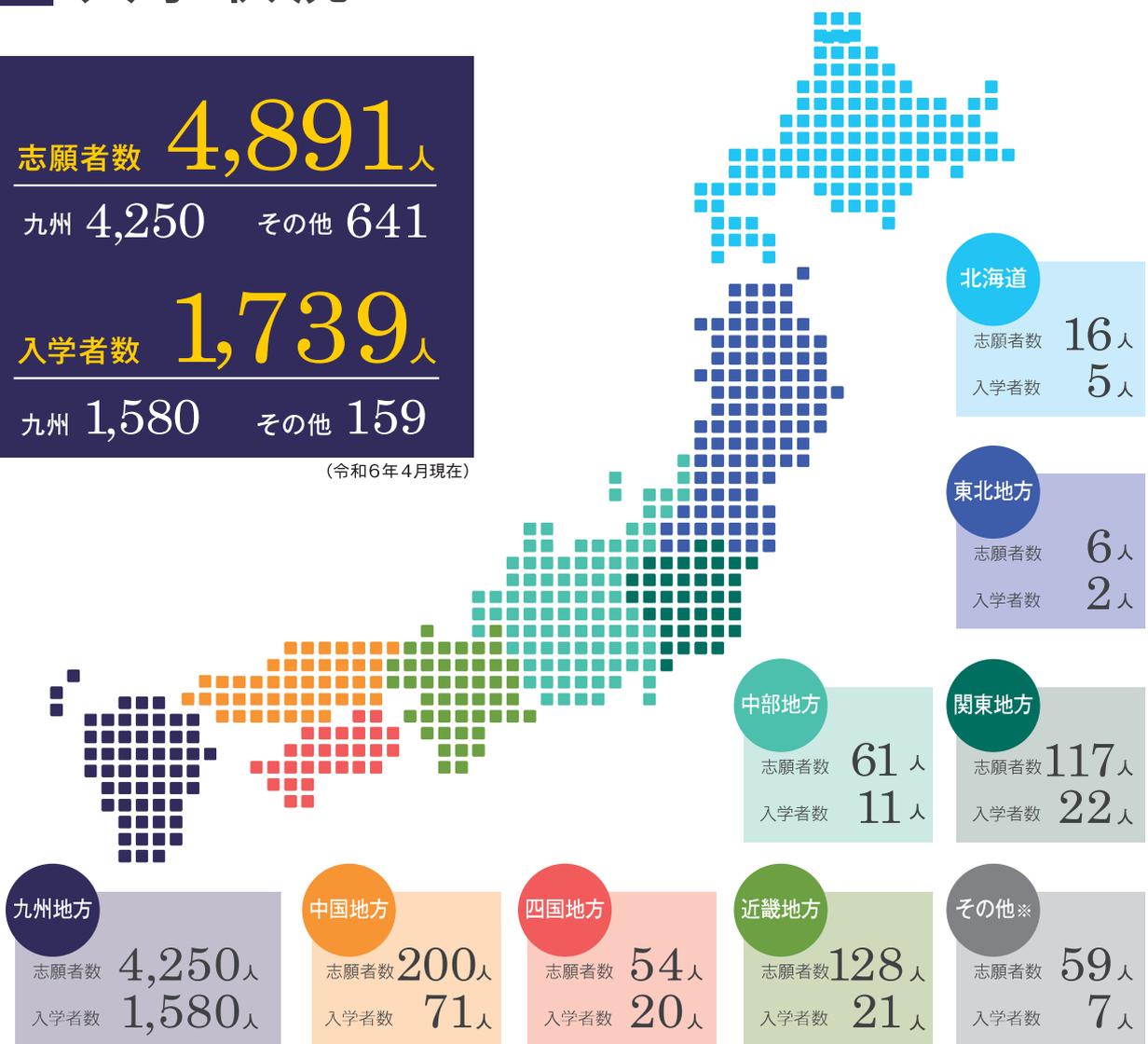
(注) グランドデザイン答申時の推計について

881,782人 (推計18歳人口) × 55.5% (大学進学率) (※) + 16,724人 (外国人留学生等) = 506,005人

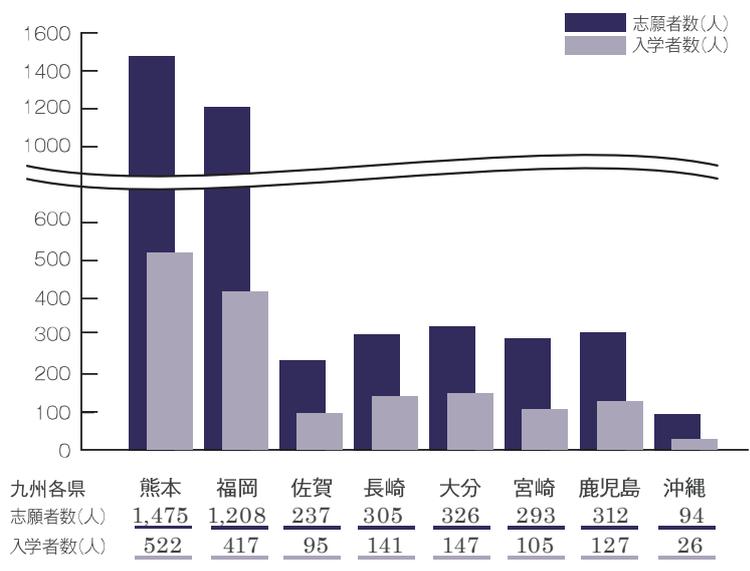
(※) GD答申時は外国人留学生も含めて進学率を57.4%としていたが、18歳人口推計値に訪日予定の外国人等は含まれていないため上記の記載としている。

大学入学者数の総数  
631,949人 (R5)

## 4 入学状況



※高卒認定試験合格者、私費外国人留学生など



区分	入学定員	入学者
文学部	170人	178人
教育学部	220人	235人
法学部	200人	202人
理学部	190人	204人
医学部	医学科	110人
	保健学科	144人
薬学部	90人	96人
工学部	473人	493人
情報融合学環	60人	68人
合計	1,657人	1,739人

## 熊本大学共創学環 競合校の入試状況(令和4～6年度)

## ●九州大学共創学部(10月入学者を含む)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3年平均
入学定員(A)	105	105	105	105
志願者数(B)	423	408	394	408.3
志願倍率(B/A)	4.0	3.9	3.8	3.9
合格者数	119	116	120	118.3
入学者数(C)	110	105	111	108.7
入学定員充足率(C/A)	104.8%	100.0%	105.7%	103.5%

## ●北九州市立大学地域創生学群

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3年平均
入学定員(A)	120	120	120	120
志願者数(B)	472	549	520	513.7
志願倍率(B/A)	3.8	4.5	4.3	4.2
合格者数	124	123	124	123.7
入学者数(C)	124	123	122	123.0
入学定員充足率(C/A)	103.3%	102.5%	101.7%	102.5%

## ●熊本県立大学総合管理学部

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3年平均
入学定員(A)	280	280	280	280
志願者数(B)	1,180	941	1,017	1046.0
志願倍率(B/A)	4.2	3.4	3.6	3.7
合格者数	322	326	318	322.0
入学者数(C)	295	306	305	302.0
入学定員充足率(C/A)	105.4%	109.3%	108.9%	107.9%

## ●宮崎大学地域資源創成学部

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3年平均
入学定員(A)	90	90	90	90
志願者数(B)	289	378	246	304.3
志願倍率(B/A)	3.2	4.2	2.7	3.4
合格者数	102	99	101	100.7
入学者数(C)	99	96	91	95.3
入学定員充足率(C/A)	110.0%	106.7%	101.1%	105.9%

●静岡大学グローバル共創科学部

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3年平均
入学定員(A)	(開設前)	115	115	
志願者数(B)	(開設前)	374	440	
志願倍率(B/A)	(開設前)	3.3	3.8	
合格者数	(開設前)	125	121	
入学者数(C)	(開設前)	115	115	
入学定員充足率(C/A)	(開設前)	100.0%	100.0%	

●岐阜大学社会システム経営学環

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3年平均
入学定員(A)	30	30	30	30
志願者数(B)	84	68	177	109.7
志願倍率(B/A)	2.8	2.3	5.9	3.7
合格者数	32	31	32	31.7
入学者数(C)	32	30	31	31.0
入学定員充足率(C/A)	106.7%	100.0%	103.3%	103.3%

●和歌山大学社会インフォマティクス学環

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3年平均
入学定員(A)	(開設前)	30	30	
志願者数(B)	(開設前)	148	70	
志願倍率(B/A)	(開設前)	4.9	2.3	
合格者数	(開設前)	44	33	
入学者数(C)	(開設前)	41	30	
入学定員充足率(C/A)	(開設前)	136.7%	100.0%	

●茨城大学地域未来共創学環

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3年平均
入学定員(A)	(開設前)	(開設前)	40	
志願者数(B)	(開設前)	(開設前)	148	
志願倍率(B/A)	(開設前)	(開設前)	3.7	
合格者数	(開設前)	(開設前)	47	
入学者数(C)	(開設前)	(開設前)	44	
入学定員充足率(C/A)	(開設前)	(開設前)	110.0%	

【出典】各大学HPの入試実施状況を基に作成

## 熊本大学各学部・学環の定員充足等の状況(令和2～6年度)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
文学部	入学者数	180	185	179	175	178
	充足率	106%	109%	105%	103%	105%
	志願倍率	3.7	3.5	3.4	2.9	3.1
教育学部	入学者数	242	242	229	233	235
	充足率	105%	105%	104%	106%	107%
	志願倍率	2.4	2.4	2.1	2.4	2.1
法学部	入学者数	214	215	217	211	202
	充足率	102%	102%	103%	100%	101%
	志願倍率	3.1	3.3	2.9	3.0	2.6
理学部	入学者数	204	202	202	207	204
	充足率	102%	101%	101%	104%	107%
	志願倍率	3.4	3.6	2.8	3.6	4.4
医学部	入学者数	256	255	257	260	263
	充足率	101%	100%	101%	102%	104%
	志願倍率	3.8	2.9	3.3	3.1	3.3
薬学部	入学者数	95	89	96	96	96
	充足率	106%	99%	107%	107%	107%
	志願倍率	3.8	4.0	3.9	3.8	3.9
工学部	入学者数	518	518	520	532	493
	充足率	101%	101%	101%	104%	104%
	志願倍率	2.5	2.2	2.3	2.1	2.4
情報融合学環	入学者数	(開設前)	(開設前)	(開設前)	(開設前)	68
	充足率					113%
	志願倍率					3.9
大学全体の志願倍率		3.0	2.9	2.7	2.8	3.0

## Q&A

**Q** 学部ではなく、学環としているのはなぜですか。

学部等連係課程制度を活用しているため、「学環」という名称を使用していますが、従来の学部と同じものと捉えていただいてかまいません。  
学部等連係課程制度を活用することによって、既存の学部の教育資源を活用した分野横断的な学位プログラムを構築することが可能となり、文理融合型の教育を実践するため、共創学環でも学部等連係課程制度を活用しています。

**Q** それぞれのコースの定員は何人でしょうか。また、コース分けはどのようなに行われるのでしょうか。

それぞれのコースに定員は設定していません。原則、学生の希望に応じて地域イノベーションコースまたはグローバルイノベーションコースに配属しますが、コース選択にあたっては、2年次の演習科目を通じて自身が取り組む課題・発見を明確にしてミスマッチのないようにします。

**Q** 共創学環を卒業することで取得可能な資格はありますか。

現在のところ、本学環を卒業することで取得できる資格は想定していませんが、引き続き検討していきます。

**Q** Kumamoto探究入試の地域課題解決挑戦型とグローバルリーダー育成型で課される課題解決セミナーはどのようにして受講するのですか。

まず、複数回の講義をオンライン(オンデマンド形式)で各自都合の良い時間に受講します。その後、課される最終課題をレポート形式で提出して合否で評価します。  
なお、グローバルリーダー育成型の課題解決セミナーでは一部英語を使用します。詳細については、HP等で公表します。

**Q** 理系クラスの学生が一般選抜のA方式を受験することは可能ですか。また、その逆も可能ですか。

所属しているクラスによってA方式、B方式の受験に制限は設けていません。大学入学共通テストで必要な科目を受験していれば受験は可能です。

**Q** どのキャンパスで授業を受けるのでしょうか。

主に黒髪キャンパスで授業を受けます。文学部、法学部、理学部、工学部の授業科目もあり、黒髪キャンパス内の様々な教室で授業が行われます。

■ 学生納付金(令和6年度現在)

入学科(予定額) 282,000円

授業料(予定額) 年額535,800円(半期267,900円)

※授業料の改定が行われた場合には、改定時から新しい授業料が適用されます



## 新学環設置準備室

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-39-1  
TEL:096-342-2309, 2031, 2032  
E-mail:kyoso-gakkan@jimu.kumamoto-u.ac.jp  
https://www.kyoso.kumamoto-u.ac.jp/



入試関連 共創学環



熊本大学黒髪キャンパスまでのアクセス  
● 飛行機(阿蘇くまもと空港まで)  
東京から ―― 約2時間  
名古屋から ―― 約1時間30分  
大阪から ―― 約1時間30分  
※ 熊本市内への移動は、空港リムジンバスを利用  
● 新幹線(JR熊本駅まで)  
新大阪駅から ―― 約3時間  
博多駅から ―― 約3.5~5.0時間  
● バス  
JR熊本駅から:産交バス「楠田地」または「光の森産交」行き(桜町バスターミナル経由)乗車  
「熊本大学前」下車  
桜町バスターミナルから:産交バス「楠田地」または「光の森産交」行き乗車「熊本大学前」下車



つながり、  
ひろがる、  
いきりひろく



共創学環  
School of Social Innovation

■ 地域イノベーションコース  
■ グローバルイノベーションコース  
入学定員 80名 / 取得学位 学士(学術)

令和8年4月開設予定

資料 8

# 地球規模の 文理の知を 持続可能な

共創学環は、情報融合学環に次いで、令和8年4月に設置する9つ目の学部になります。共創学環では、地域社会から国際社会に至る様々な社会課題を見だし、実践を通じて課題解決に導くために必要な知識・スキルを身につけます。さらに、知識・スキルを身につけるだけでなく、実際の社会で実践・展開し、持続可能な社会の実現に向けてイノベーション(社会変革をもたらす新しい価値)を創り出す人材を育成します。

共創学環での教育には、経営・マネジメント、多文化共生・コミュニケーションの分野を多く取り入れています。なぜなら、課題解決や社会イノベーションの創出には、多くの人々と共に取り組むことが必要です。そのために

# 視野と地域に根ざした視点、 融合し、周囲を巻き込み 社会を共に創り出す人材へ

は様々な文化・背景、考え方を持つ人への理解やコミュニケーションスキルが重要であり、さらに取組を一時的なものにせず、将来にわたって発展・継続していくためにも経営・マネジメントの重要性は高いと考えているからです。

また、これらに加え、データサイエンス、人文科学、経済、公共政策、自然科学、生命科学の科目を配置し、特定の専門分野にとどまらない学際的な知識・多面的な視野を養います。

さらに、企業・自治体・金融機関等で実務にあたる人や起業家・経営者、それぞれ出身地が異なる外国人教員や海外の機関で活躍する人、海外の大学で学ぶ学生など国内外

の多種多様な人たちが携わることで、ローカル(ミクロ)の視点からグローバル(マクロ)の視点まで幅広く学ぶことができるのも共創学環の特徴です。

共創学環では社会課題の解決に取り組み、新しい価値創出に挑戦する人を求めています。文系・理系、農業や工業・商業などバックグラウンドは一切問いません。

今、新しい未来への扉を開くときです。持続可能な社会を共に創りましょう。

共創学環 学環長候補者  
教授

金岡 省吾

## INDEX

KUMAMOTO UNIVERSITY  
SCHOOL OF SOCIAL INNOVATION

- 01 設置の目的・学環長候補者挨拶
- 03 カリキュラム
- 05 地域イノベーションコース
- 07 グローバルイノベーションコース
- 09 入試情報
- 11 進路情報
- 13 教員紹介

カリキュラム

教養教育科目及び演習科目に加えて、人間科学、社会科学、地域科学、歴史、コミュニケーション、多文化共生、経営、経済、公共政策、データサイエンス、自然科学の幅広い分野から構成される文理融合の専門科目群をもうけ、多面的な視野・知識・技能や実践的な課題解決能力が身につくように編成しています。

※ 以下の科目名称等については変更する場合があります。

	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
<b>教養教育</b>	○外国語科目(英語) ○外国語科目(ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語) ○情報科目	○外国語科目(自由選択) ○リベラルアーツ科目 ○Multidisciplinary Studies	○現代教養科目 ○キャリア科目	他				
<b>共創基盤科目</b>	○プレゼンテーション入門 ○共創キャリアデザイン ○クリティカルシンキング入門 ○リーダーシップスキル ○共創実践論Ⅰ <b>Pick UP</b> ○共創実践論Ⅱ	○共創企業戦略論Ⅰ ○共創企業戦略論Ⅱ ○地域再生論 ○経済地理学 ○社会課題解決のためのデータサイエンス基礎						
<b>共創プロジェクト科目</b>	○共創プロジェクト演習Ⅰ ○共創プロジェクト演習Ⅱ	○共創プロジェクト演習Ⅲ ○共創プロジェクト演習Ⅳ	○地域共創プロジェクト演習 or ○グローバル共創プロジェクト演習	○地域共創プロジェクト研究 or ○グローバル共創プロジェクト研究				

データサイエンス・自然科学・生命科学系
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ビジネス統計学</li> <li>○ 社会課題解決のためのデータサイエンス応用</li> <li>○ グローバルコラボレーションとAIテクノロジー</li> <li>○ デジタル・グリーン・トランスフォーメーション</li> <li>○ データマイニング</li> <li>○ 企業から学ぶICT・DX活用論</li> <li>○ 安全学</li> <li>○ 生物資源学</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ バイオテクノロジー</li> <li>○ バイオ循環型グリーンテクノロジー</li> <li>○ グリーンケミストリー</li> <li>○ 社会インフラマネジメント学</li> <li>○ 水環境管理論</li> <li>○ 地域デザイン学</li> <li>○ アーバンプランニング</li> <li>○ 防災・減災学</li> <li>○ くまもと流域圏の自然と生物多様性</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 山・川・海の自然と環境・災害問題</li> <li>○ 地球システム学</li> <li>○ 地球環境科学</li> <li>○ 地球史</li> <li>○ 生物多様性学Ⅰ</li> <li>○ 生物多様性学Ⅱ</li> <li>○ グローバルヘルスとウェルビーイング <b>Pick UP</b></li> <li>○ 技術と共に探る地域健康デザイン</li> </ul>

経営・経済・公共政策系
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域経済論</li> <li>○ ローカルイノベーション育成論Ⅰ</li> <li>○ ローカルイノベーション育成論Ⅱ</li> <li>○ 経営戦略論 <b>Pick UP</b></li> <li>○ マーケティング論</li> <li>○ 消費者行動論</li> <li>○ コーポレートガバナンス論</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 与信会計論</li> <li>○ アート思考演習</li> <li>○ マーケティング・リサーチ</li> <li>○ サービスマーケティング</li> <li>○ 環境経済論</li> <li>○ 地域政策</li> <li>○ 地方財政</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経済政策</li> <li>○ 国際経済論</li> <li>○ 行政学Ⅰ</li> <li>○ 行政学Ⅱ</li> <li>○ 社会保険法Ⅰ</li> <li>○ 社会保険法Ⅱ</li> <li>○ 地域社会学概論Ⅰ</li> </ul>

コミュニケーション系
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合実践中国語</li> <li>○ 総合実践韓国語</li> <li>○ ポジティブ心理学 <b>Pick UP</b></li> <li>○ コミュニティー心理学</li> <li>○ 研究法入門</li> <li>○ デイバート学Ⅰ</li> <li>○ デイバート学Ⅱ</li> <li>○ 社会調査法</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ダイアローグ実践Ⅰ</li> <li>○ ダイアローグ実践Ⅱ</li> <li>○ 紛争解決・平和構築実践論</li> <li>○ 紛争解決・平和構築実践論</li> <li>○ 日英・英日翻訳演習</li> <li>○ コミュニケーション論</li> <li>○ 心理学概論</li> <li>○ コミュニケーション特論</li> </ul>

多文化共生系
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グローバルチーム・ダイナミクス</li> <li>○ 多文化社会と日本</li> <li>○ 韓国現代文化論</li> <li>○ 日韓比較文化論</li> <li>○ 現代台湾研究</li> <li>○ 台湾の文化と社会</li> <li>○ 日本語日本文学入門</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中国語圏文化論</li> <li>○ 英語圏文化論</li> <li>○ ドイツ語圏・フランス語圏文化論</li> <li>○ 比較文学・国際文化学入門</li> <li>○ 現代文化資源学入門</li> <li>○ 倫理学概論</li> <li>○ 社会学概論</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化人類学概論</li> <li>○ 日本史概説Ⅰ</li> <li>○ 考古学概説Ⅰ</li> <li>○ アジア史概説Ⅰ</li> <li>○ 西洋史概説Ⅰ</li> <li>○ 文化史概説Ⅰ</li> </ul>

Pick UP

「実践的な課題解決×文理融合」のカリキュラムで、フィールドワークを主軸とした産学官金連携・チーム型学修

共創基盤科目

共創実践論Ⅰ・Ⅱ：金岡 省吾 教授 / 尾山 真 准教授

異なる専門性を持つ講師陣による講義を通じて、持続可能な社会の実現に向けた地域課題の解決に必要な知識・スキルを学び、具体的な解決策を探索します。

共創実践論Ⅰでは、人口減少や地域課題をテーマに、異なる専門性を持つ講師陣による講義を通じて、持続可能な社会の実現に向けた地域課題の解決方法を学びます。多様なアプローチや事例分析を交え、課題解決に必要な知識とスキルを身につけます。また、グローバルな視点を取り入れたコンテンツも含まれており、国際的な課題意識も育成します。共創実践論Ⅱでは、人口減少や地域課題に対する具体的な解決策を探索し、多角的視点から課題分析とアプローチ方法を深く学びます。また、グローバルコンテントを取り入れ、国際的な視点を持った問題解決力を養成します。実践的な議論やケーススタディを通じて、共創の場を形成するための知識と応用力を高め、社会課題への対応力を強化します。



視座を持った問題解決力を養成します。実践的な議論やケーススタディを通じて、共創の場を形成するための知識と応用力を高め、社会課題への対応力を強化します。

共創専門科目

ポジティブ心理学：西川 里織 准教授

ポジティブな感情や人間の強さの科学とその応用について取り上げ、ポジティブ心理学の現代社会における実践的な価値を探ります。

ポジティブ心理学は、個人や社会の繁栄を促す強みや長所を研究する心理学の一分野です。講義では、共感、利他主義、感謝、愛着、愛などのポジティブな感情や人間の強さの科学とその応用について包括的に取り上げます。さらに、新たな学術的成果や神経生物学的基盤を踏まえ、多様な社会の側面や文化的背景に根ざした人々の「強み」に焦点を当てます。科学的根拠に基づき、ポジティブ心理学が現代社会の様々な側面にどのような役に立つのか、その実践的な価値を探ります。



ポジティブ心理学は、個人や社会の繁栄を促す強みや長所を研究する心理学の一分野です。講義では、共感、利他主義、感謝、愛着、愛などのポジティブな感情や人間の強さの科学とその応用について包括的に取り上げます。さらに、新たな学術的成果や神経生物学的基盤を踏まえ、多様な社会の側面や文化的背景に根ざした人々の「強み」に焦点を当てます。科学的根拠に基づき、ポジティブ心理学が現代社会の様々な側面にどのような役に立つのか、その実践的な価値を探ります。

共創専門科目

経営戦略論：大藪 亮 教授

経営学や経営戦略論に関する基礎的な考え方や理論について理解し、それらの理論的枠組みを用いて、企業の実際の経営活動について学びます。

経営学は、実務と密接に結びついた、非常に実践志向が強い学問です。その中でも経営戦略は、企業が利益を獲得し持続的に成長するために欠かせない要素となります。戦略には、顧客や競合相手などの外部環境だけでなく、組織の構造や人材といった内部環境にも適合していることが求められます。しかし、これを実現することは簡単ではなく、そこに実際の経営の難しさがあります。

本講義では、多くの具体的な事例を取り上げながら、色々な企業の実践を読み解くための経営戦略の知識や理論について解説します。



経営学は、実務と密接に結びついた、非常に実践志向が強い学問です。その中でも経営戦略は、企業が利益を獲得し持続的に成長するために欠かせない要素となります。戦略には、顧客や競合相手などの外部環境だけでなく、組織の構造や人材といった内部環境にも適合していることが求められます。しかし、これを実現することは簡単ではなく、そこに実際の経営の難しさがあります。本講義では、多くの具体的な事例を取り上げながら、色々な企業の実践を読み解くための経営戦略の知識や理論について解説します。

共創専門科目

グローバルヘルスとウェルビーイング：Hari Prasad Devkota 助教

ケーススタディや実践的な議論を通して、ヘルスリテラシーとグローバルヘルスを学び、さらに、ウェルビーイングを促進するための戦略を学びます。

グローバルヘルスとウェルビーイングでは、疾病予防、医療アクセス、メンタルヘルス、環境がウェルビーイングに与える影響など、世界の健康に関わる主要な課題を探ります。さらに、公衆衛生政策や国際組織の役割、健康改善のための技術的進歩についても検討します。ケーススタディや実践的な議論を通して、ヘルスリテラシーとグローバルヘルスについての学びを深めます。グローバル健康問題に関する知識を提供し、ウェルビーイングを促進するための戦略を学ぶことがこのコースの目的です。

健康格差、持続可能な医療ソリューション、国際協力の重要性についての批判的思考を養います。



健康格差、持続可能な医療ソリューション、国際協力の重要性についての批判的思考を養います。



# 地域イノベーションコース



## 実践的な学びを通じて、地域が直面する多様な課題を解決し、持続可能な地域づくりを牽引する人材を育成

人口減少など地域が直面する課題解決には、地域リーダーはもとより、地域価値を向上させる地域デザイナーを担うクリエイティブな人材やデジタル人材、円滑かつ効果的な地域づくり活動を実践するためのマネージャー、コーディネーター、ファシリテーターなど、様々な役割を担う人材が求められます。地域イノベーションコースでは、地域が直面する多様な課題を实地研修を通じて学び、地域のイノベーションを牽引する人材の育成を

目指し、実践の場で活躍する講師陣から学びを深め、人と地域環境に働きかけられる力を養うことで、共創社会の実現に向けたコーディネート力と課題解決能力を高めます。コース配属は3年次になりますが、1・2年次の演習科目で地域（ローカル）とグローバルの両方の視点で課題解決に向けて学びます。2年次までに学生自身が行う課題・発見を明確にしてコース選択にミスマッチの無いようにします。



## 地域共創プロジェクトによる実践を通じた学び

「地域共創プロジェクト」では、育成と実践の場に参加し実践から学び、実践経験を積めるところに特徴があります。地域の実務者や社会人と共に課題解決の場に参加し、課題を調査・分析した上で、解決策を企画し、地域のフィールドで実際に実践します。現場での実践を通じて、地域住民や関係者と連携し、プロジェクトを進捗させます。その成果を評価・検証することで、計画の有効性を確認し、課題解決のプロセスをさらに深めます。

さらに、地域事業者の本業による地域課題解決に向けた取組や金融機関・自治体の伴走支援を学ぶことができます。「未来創造塾」、都市圏企業が地域の事業者と一緒に課題解決に取り組む「こところば」などを実施し、企業が持つグローバル（グローバル＋ローカル）な知識・スキル、地域事業者の地域課題解決がコア化する共創の場を学ぶことができます。これらの学びを通じて、地域の持続可能な発展に貢献できる実践力と応用力を身につけ、地域課題に取り組む次世代のイノベーターとして成長することを目指します。

### Features

## 地域の企業・自治体・金融機関等の全面支援による経営・社会実践教育

### 先輩学生の声



文学部 森宗 楓矢さん

私はフィールドワークの実習で佐賀県鹿島市を訪問し、市を代表する地域活性化イベントである「ガタリンピック」に携わってきた方々にインタビューを行いました。発足当初からのメンバーは、当時の地域の状況に危機感を覚え、市内の各団体に呼びかけて注目を集めるまで手作りイベントを立ち上げたことで、全国から注目を集めるまでになり、市の知名度を格段に高めました。地域活性化に取り組む方々の情熱と成功に導くための知恵に感銘を受けました。またデータサイエンス系の授業では地理情報システム(GIS)の技法を修得し、地域の実態を多角的に分析できるようになりました。幅広く専門的な講義に加えて、実践的な実習により、社会の様々な課題を具体的に検討できるのが魅力です。こうした経験を活かし、将来は社会や地域に貢献できる人材になりたいと思います。



気象予報士・やつしろ未来創造塾2期生 早田 蛍さん  
地域の気象予報士かつ防災士の私が目にした身近な地域課題は、「子育て」と「防災」。自身も子育て世代である中で、子育てしやすいまちづくりを目指して私が行っている取り組みについてご紹介します。



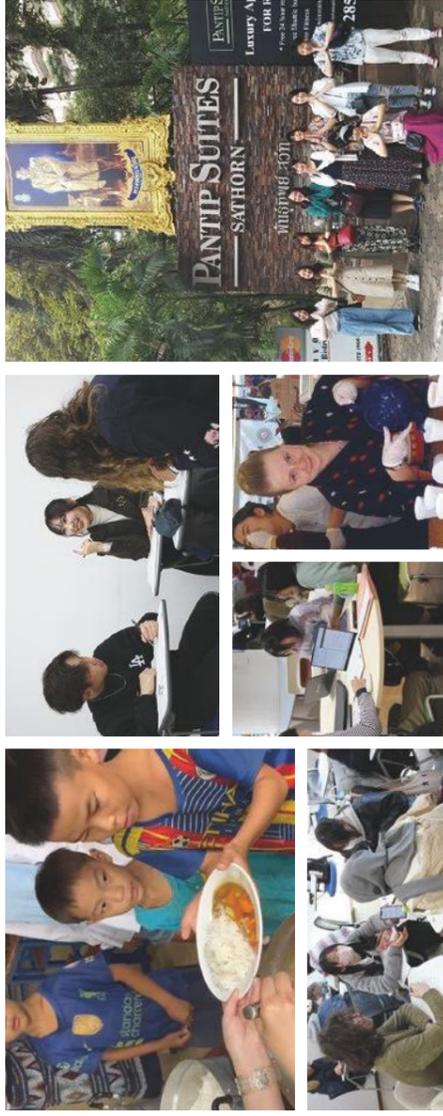
吉永製パン所・あまくさ未来創造スクール1期生 右山 秀幸さん  
人口減少が著しい牛深地域の現状と、そんな地域のパン屋の現状と、取り組んでいる地方創生のリアルをお伝えします。皆さんと対話できることを楽しみにしています！



田辺市役所・熊本大学客員准教授 鍋屋 安則さん  
公務員と大学教員二つの立場で新たな働き方を実践しています。地域課題解決の現場で得た学びをお伝えします。



八代市役所・熊本大学政策研究員 岩田 憲一郎さん  
人口減少によって引き起こされる様々な地域課題に対して、ローカルイノベーターと呼ばれる地域事業者がどのように取り組み、解決しているのか、国の動向や各地の事例を交えながらご紹介いたします。



# グローバル イノベーション コース



## 海外での活動等を通じて、多様な価値観や文化を持つ人々と協力し、地域間の課題をグローバルに解決する人材を育成

現在のようなグローバル化時代には、人々には、従来のような国境に囚われる必要はありません。文化的、経済的、政治的な境界を越えた、新たなネットワークや世界的規模の活動や価値の創造が重要になります。高度な言語能力、情報・メディア運用能力、広範な知識と説得力を持ち、新たな価値の創造が可能な人材が求められます。グローバルイノベーションコースでは、グローバル人材を育成するために、異なる価値観の人々や多様な文化・専門分野の人々と連携して職務を遂行するために必要な教養を学び、地域間の課題をグローバルに解決する能力を身につけます。コース配属は3年次になりますが、1・2年次の演習科目で地域（ローカル）とグローバルの両方の視点で課題解決に向けて学びます。2年次までに学生自身が取り組み課題・発見を明確にしてコース選択にミスマッチのないようにします。

設置構想中 上記の内容は予定であり、内容を変更する場合があります。

## グローバル共創プロジェクト による実践を通じた学び

「グローバル共創プロジェクト」では、実践的な課題解決型授業活動に取り組みます。様々な社会問題にグローバルな観点から取り組み、問題解決に向けた実践かつ持続可能な方法の検討・実践を行います。主に3種類のプロジェクトがあり、学生は一つ以上を選択します。

- ① 大学・部局間交流協定締結校での調査（長期）
- ② 海外フィールド調査（短期）
- ③ 国内研修・インターンシップ

（企業とのコラボ・プロジェクト）  
韓国、台湾を中心とした東アジア圏や欧米を中心としたパライエティー豊かな海外でのプロジェクトが提供されます。それに加えて、外国人居住者が増加した現代では、国内でも様々なグローバル活動を展開することができ、外国人コミュニティや旅行者などを対象とした国内プロジェクトも充実しています。求められる言語能力など、プロジェクトによって異なりますが、教員による丁寧な事前事後指導を通して、学生の興味・関心にあったプロジェクトが成功するように取り組んでいきます。



### Features

東アジア圏や欧米を中心とした  
様々な国籍の教員による多文化  
共生・コミュニケーション教育

### 先輩学生の声



文学部  
藏座 美菜子さん



幼いころから旅行が好きで、大学では世界遺産や観光業について学ぶ機会には逃すものかと、香港、マカオ、タイ、上海での観光資源やテーマパーク産業についての調査、オーストラリアでの長期留学、また韓国で開催されたユネスコ主催のワークショップにも参加しました。外国人旅行者の地方誘致とオバーツーリズム問題について研究しましたが、卒論の執筆はもちろん、発表も英語で行いました。今はクルーズ船観光担当部署に勤めています。大学では豪華クルーズ船での旅のような経験はありませんでしたが、大学で身につけたスキルや知識を活かし、お客様ひとりひとりが満足していただけるような「経験」のプロデュースに日々邁進しています。



文学部  
中川 菜月さん



私は以前から世界の教育格差や貧困問題に関心があり、それらを解決するための方法・活動について学んでいます。スペイン、タイ、ラオス、ベトナムでの研修に参加しました。特に、大阪のNPOが主催するラオスの公立孤児院にインターンとして学習支援に参加したことは貴重な経験になりました。そこでは、子どもたちと将来の夢について話し合う機会にも恵まれました。今後の卒論のための調査も行うこともできました。2025年2月からは交換留学生としてシドニー工科大学で学んでいます。これまでの経験や学びを経て、私自身がさらに教育や貧困問題の解決に関与できるようになることから、お世話になった孤児院の方々に恩返しができるよう、より教育や貧困問題について深く学び、今後自分のできることを探索していきたいです。

設置構想中 上記の内容は予定であり、内容を変更する場合があります。

## アドミッション・ポリシー（抜粋）

### ◆求める学生像

地域社会から国際社会に至る様々な課題解決に貢献し、社会イノベーションを担うことができる次のような人を求めます。

1. 地域社会から国際社会に至る様々な課題の解決に関心を持ち、新しい価値創出に挑戦しようとする意欲が高い人
2. 課題解決に必要な知識や技能を主体的に探究し、身につけようとする意欲が高い人
3. 背景や考え方が異なる人と進んで協力し、共に問題の解決に取り組むことへの強い意欲を持っている人
4. 営利・非営利を問わず、組織体の経営や起業することに深い関心を持っている人
5. 語学力(英語、中国語、韓国語等)を高め、外国語によるコミュニケーション力を身につけようとする意欲が高い人

## 募集人員 一般選抜(前期日程)、総合型選抜及び学校推薦型選抜 I により学生募集を行います。

学部等	コース(※)	入学定員	選抜方式	募集人員	
共創 学環	地域 イノベーション コース	80	一般選抜 (大学入学共通テストを課す)	前期日程 40	
			総合型選抜 (大学入学共通テストを課す)	Kumamoto探究入試 【プレゼンテーション型】 (10人程度)	
	グローバル イノベーション コース	80	総合型選抜 (大学入学共通テストを 課さない)	Kumamoto探究入試 【地域課題解決挑戦型】 (4人程度)	22
				Kumamoto探究入試 【グローバルリーダー 育成型】 (4人程度)	
				国際バカロレア入試 (2人程度)	
海外在住者対象 帰国生徒対象	3	海外在住者対象 帰国生徒対象	海外在住者対象 (2人程度)		
			私費外国人留学生対象 (2人程度)		
			学校推薦型選抜 I (大学入学共通テストを課さない)	15	

※ コースについて/学環一括で募集し、3年次進級時に原則として希望に応じて各コースに配属する予定です。

## 入試日程(予定)

入試区分	学生募集要項発表	出願時期	試験日	合格者発表
総合型選抜	Kumamoto探究入試(※1) 【プレゼンテーション型】	7月中旬頃	10月下旬頃	合格内定:11月上旬頃 最終合格:2月中旬頃
	Kumamoto探究入試(※2) 【地域課題解決挑戦型】			
	Kumamoto探究入試(※2) 【グローバルリーダー育成型】	11月中旬頃	2月25日	3月上旬頃
	国際バカロレア入試(※2)			
	海外在住者対象(※2)			
帰国生徒対象(※2)	9月下旬頃	11月上旬頃	11月下旬頃	12月上旬頃
私費外国人留学生対象(※2)				
学校推薦型選抜 I (※2)	11月中旬頃	2月25日	3月上旬頃	
一般選抜・前期日程(※1)	11月中旬頃	1月下旬頃	2月25日	3月上旬頃

※1 大学入学共通テストを課す ※2 大学入学共通テストを課さない

設置構想中 上記の内容は予定であり、内容を変更する場合があります。

## 探究活動で身につく力を評価する「Kumamoto探究入試」を導入します

共創学環では、新学習指導要領(2022年度実施)で充実化された「総合的な探究の時間」(探究学習)等での課題発見・課題解決的な学習活動で身につく力を測る新しい入試方法として、総合型選抜で「Kumamoto探究入試」を導入します。

授業外の取り組みも含め、自らの関心に基づいて、課題の発見や仮説の設定、実験・調査といった一連の課題解決・価値創造に  
取り組んだ経験を重視します。

総合型選抜:Kumamoto探究入試 (募集人員:18人程度)	
類型	グローバルリーダー育成型 【大学入学共通テストを課さない】 (4名程度)
主な 出願要件	● 本学が開講する「グローバル課題解決セミナー」を受講し、修了した者 ● 合格した場合、入学することを確約できる者
出願書類	志望理由書・地域課題解決セミナー修了書等
選抜方法	【一次選抜(書類審査)】 出願書類等を評価 【二次選抜(面接)】 探究活動に関するプレゼンテーションと出願書類を踏まえた面接 ※二次選抜までの結果を総合判定の上、合格判定者を選定し、さらに大学入学共通テストで指定する以下の教科・科目の成績(満点)の総得点が概ね60%に達した合格内定者を最終合格者とします。 (大学入学共通テストの指定教科・科目等) 国:国語……1 数:数Ⅰ・数A……1 数Ⅱ・数B・数C……1 外:英、独、仏、中、韓から1 情:情報Ⅰ……1 地歴:地総・地探・歴総・日探・歴総・世探 から1 公民:公・倫、公・政経 から1 理:物基・化基・生基・地基・物、化、生、地から1 (5教科6科目) ※地歴、公民又は理科のうちから1科目を選択すること ※「物基・化基・生基・地基」については、2つを選択することで「理科1科目」受験とする
その他	教育課程外(高校での授業以外)で探究活動に取り組みたい経験がある人も出願できます。 探究活動では、課題研究・部活動、委員会活動、課外活動、自主活動など活動の形式は問いません。
	グローバル課題解決セミナー 【概要】 複数回の講義をオンライン(オンデマンド形式)で受講後、課される課題(一部英語による)を提出し最終評価を行います。

## 一般選抜・前期日程

選抜区分	一般選抜前期日程【A方式】	一般選抜前期日程【B方式】
科目名等	科目名等	科目名等
大学入学 共通テストの 利用教科・科目名	国語……1 地総・地探・歴総・日探・歴総・世探から1又は2 から2 公・倫、公・政経から1 数Ⅰ・数A……1 数Ⅱ・数B・数C……1 物基・化基・生基・地基・物、化、生、地から1 英、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ……1 (6教科又は7教科8科目) ※「物基・化基・生基・地基」については、2つを選択解答することで「理科1科目」受験とする。	国語……1 地総・地探・歴総・日探・歴総・世探 から1 公・倫、公・政経 数Ⅰ・数A……1 数Ⅱ・数B・数C……1 物、化、生、地から2 英、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ……1 (6教科8科目)
個別学 検査	現代の国語・言語文化・論理国語・文学国語(古文・漢文を除く) 英コⅠ・英コⅡ・英コⅢ・論表Ⅰ・論表Ⅱ・論表Ⅲ	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C 英コⅠ・英コⅡ・英コⅢ・論表Ⅰ・論表Ⅱ・論表Ⅲ

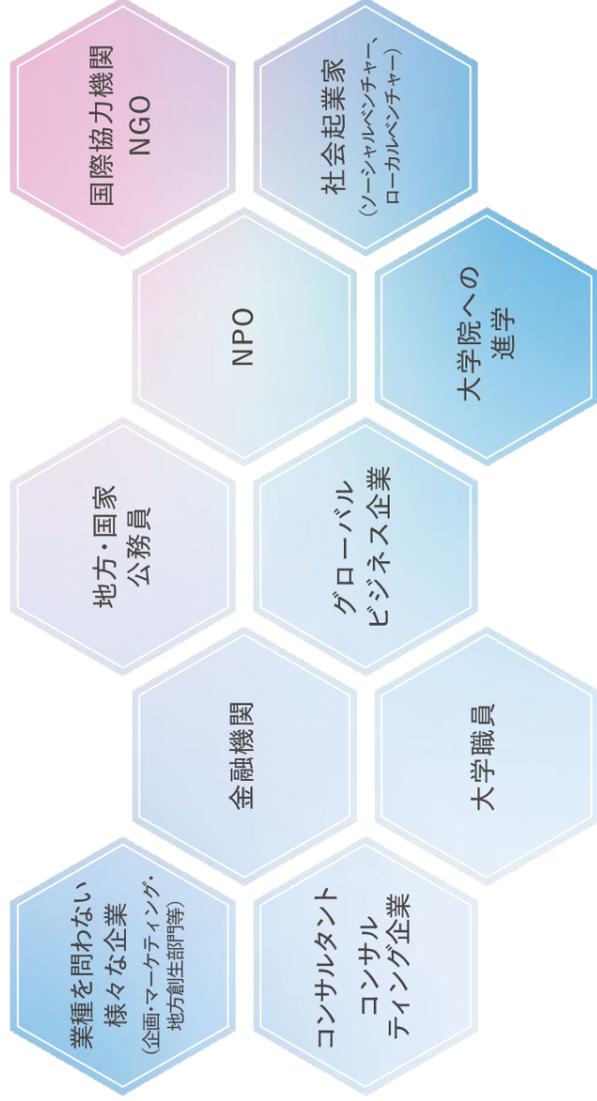
現時点で計画中のものであり、掲載している内容等については、今後変更になる可能性があります。確定後の内容については、入学者選抜要項及び学生募集要項で必ず確認してください。

設置構想中

上記の内容は予定であり、内容を変更する場合があります。

卒業後の進路(想定)

卒業後の進路として、以下のような幅広い分野の進路先を想定しています。



企業・自治体からのメッセージ

私たち熊本県内外の自治体は、熊本大学と連携し、ローカルイノベーション育成を目指す未来創造塾の取組を通じ、地域課題の解決に取り組んできました。「共創学環」の学生の皆さんにも、地域フィールドを提供し、実践を通じ、地域課題解決力の強化が地域の魅力を高め、新たな価値を生み出し、地方への新たな人の流れを創出する環境を整えたいと思います。

学生の皆さんは、共に未来を築く仲間と考え、次世代の人材育成を全力で支えていきます。

一緒に、地域の未来を創造していきましょう！  
入学、そして各地域での活動を楽しみにしています。



天草市長  
**馬場 昭治** さま  
地域の若者たちが動き始め、未来を築く力を感じています。サテライト演習拠点を整備し、共創学環に協力してまいります。



阿蘇地域振興  
テザインセンター理事  
**渡邊 誠次** さま  
学生の皆さんには、阿蘇全体をより実践的な学びの場として活用してもらいたい。



玉名市長  
**蔵原 隆浩** さま  
玉名をフィールドにして地元の人と共に地域課題解決や未来を構築できる人になってもらいたい。



菊池市長  
**江頭 実** さま  
地域課題解決にはグローバルな知恵が不可欠。一緒に地域で活躍するためにも、グローバルな経験を重ねてほしい。



山鹿市長  
**早田 順一** さま  
学生の皆さんには自治体の実践の場にどんでん出てきてほしい。そして地域の未来を共に創ってほしい。



和歌山県田辺市長  
**真砂 充敏** さま  
地域を思い、挑戦し続けるアプレンジャーに是非なっ  
ていただきたい。



八代市長  
**中村 博生** さま  
未来創造塾との連携により、共創学環の拠点となる「新しい学びの場」を八代に作ってまいります。



熊本経済同友会  
代表理事  
**笠原 慶久** さま

共創学環から未来へはばたく皆さんへ向け

熊本経済同友会を代表して、「共創学環」に挑む皆さんへ心からエールを送ります。  
熊本は成長の可能性を広げる一方で、人口減少や地域間格差といった課題に直面して  
います。「共創学環」で知識を深め、経験を積み、自らのパス(存在意義)を深く見つけ、自らの成長はもとより地域課題解決につながる能力を習得されることを期待しています。私たちと共に、地域社会の未来に向けた挑戦に踏み出し、熊本から新しい価値を創造していきましょう！



熊本県信用保証協会  
会長  
**田嶋 徹** さま

共創学環を選び、将来、社会イノベーションを担う挑戦者たちへ

今、地域金融の世界では単に融資にとどまらず、事業者への経営支援を行うことが強く求められています。地域課題をビジネスで解決する事業者を育成・サポートすることは、地域経済への貢献につながります。  
共創学環では、実際の社会課題の解決に取り組む産学官金の研究者や実務者から、各分野の生の声を聴き、自らの実践力を高めることができま。是非、共創学環の4年間を経て、地域経済をリードするよう人材になられることを期待します。



NTT西日本  
サービスエンジニアリング部  
DXリテラサイ室長  
**浦川 秀明** さま

「共創学環」の学びを基に、地域から全国、世界へ飛び立とう！

多くの日本企業が、事業領域・技術領域を横断した企業変革・DX(デジタルトランスフォーメーション)に注目する今、熊本大学が掲げる「越境人材育成」の取組は注目に値します。地域課題を起点に、AIやロボティクスに代表される先端技術をグローバルに探索し、その課題解決や新しい価値を創出できる人材はまだ不足しています。「共創学環」での学びを基に、地域から全国、そして世界へ飛翔しましょう。



株式会社JTB  
熊本支社 支店長  
**阿部 敬行** さま

地域の魅力を発見し新たな価値へ。共に挑戦し、サステナブルな社会を創ろう！

JTBは「交流創造」を通じて、人と地域が交わる未来を描いています。「共創学環」での学びを通じ、地域の魅力を発見し、それを新たな価値へと変える挑戦に期待しています。皆さんの行動が地域を活性化し、社会を発展させる原動力となるでしょう。共にサステナブルな未来を創りましょう。

企業・自治体からのメッセージ

私たち熊本県内外の自治体は、熊本大学と連携し、ローカルイノベーション育成を目指す未来創造塾の取組を通じ、地域課題の解決に取り組んできました。「共創学環」の学生の皆さんにも、地域フィールドを提供し、実践を通じ、地域課題解決力の強化が地域の魅力を高め、新たな価値を生み出し、地方への新たな人の流れを創出する環境を整えたいと思います。

学生の皆さんは、共に未来を築く仲間と考え、次世代の人材育成を全力で支えていきます。

一緒に、地域の未来を創造していきましょう！  
入学、そして各地域での活動を楽しみにしています。



天草市長  
**馬場 昭治** さま  
地域の若者たちが動き始め、未来を築く力を感じています。サテライト演習拠点を整備し、共創学環に協力してまいります。



阿蘇地域振興  
テザインセンター理事  
**渡邊 誠次** さま  
学生の皆さんには、阿蘇全体をより実践的な学びの場として活用してもらいたい。



玉名市長  
**蔵原 隆浩** さま  
玉名をフィールドにして地元の人と共に地域課題解決や未来を構築できる人になってもらいたい。



菊池市長  
**江頭 実** さま  
地域課題解決にはグローバルな知恵が不可欠。一緒に地域で活躍するためにも、グローバルな経験を重ねてほしい。



山鹿市長  
**早田 順一** さま  
学生の皆さんには自治体の実践の場にどんでん出てきてほしい。そして地域の未来を共に創ってほしい。



和歌山県田辺市長  
**真砂 充敏** さま  
地域を思い、挑戦し続けるアプレンジャーに是非なっ  
ていただきたい。



八代市長  
**中村 博生** さま  
未来創造塾との連携により、共創学環の拠点となる「新しい学びの場」を八代に作ってまいります。

自分の考えを持ち、行動し、仲間と創る力が未来をきりひらく

自衛人材、それこそがいま求められている。痛感したきっかけは、入社4年目で経験した米国本社勤務でした。異国の地での業務は、常に自己の意見を持つこと、自ら考え行動すること、そして周囲を巻き込みながら物事を最後までやり遂げる力が求められる毎日でした。共創学環で過ごす日々にも同様の姿勢が求められると思いますが、共創を通じて新しい価値を生み出す経験は、未来の社会で活躍するための重要な基盤を築くものだと思っています。



アサヒビール株式会社  
広域営業本部 営業担当  
**佐野 恭兵** さま

共創学環での経験を、自分の魅力を高めるチャンスに

あなたから買います。それが営業の醍醐味。扱っている商品は同じ。知識や技術も必要だが、最後は「人」。商品力+α「あなただから」と自分を選んでもらうことが、製品を手に取り、好きになるきっかけとなるはず。そうありたいと日々考え、営業をしています。あなたが共創学環で得る経験を、自分という商品価値を高める時間にどんでん活用して欲しいです。そしてどんな分野でも活躍できる「人財」になることを願っています。



天草市長  
**馬場 昭治** さま  
地域の若者たちが動き始め、未来を築く力を感じています。サテライト演習拠点を整備し、共創学環に協力してまいります。



阿蘇地域振興  
テザインセンター理事  
**渡邊 誠次** さま  
学生の皆さんには、阿蘇全体をより実践的な学びの場として活用してもらいたい。



玉名市長  
**蔵原 隆浩** さま  
玉名をフィールドにして地元の人と共に地域課題解決や未来を構築できる人になってもらいたい。



菊池市長  
**江頭 実** さま  
地域課題解決にはグローバルな知恵が不可欠。一緒に地域で活躍するためにも、グローバルな経験を重ねてほしい。



山鹿市長  
**早田 順一** さま  
学生の皆さんには自治体の実践の場にどんでん出てきてほしい。そして地域の未来を共に創ってほしい。



富士電機株式会社  
半導体事業本部  
営業統括部  
**西村 憲治** さま



富士電機株式会社  
半導体事業本部  
営業統括部  
**西村 憲治** さま

自分の想いを正確に伝え、人を動かす力を磨こう！

学生の皆様が共創学環での学びを通じて、様々な人を動かす力を培われることを期待しています。世界各国の仲間やお客様との協業には、語学力だけでなく客観的な情報に基づく意思伝達が重要だと日々感じます。大きな事業であるほど関わる相手は増え、立場も様々になるので、依頼や主張の際は意図や根拠を正確に伝える能力が求められます。自分の想いを客観的に表現し、仲間や経営と共に動かしていく人財を弊社は探しています。



ジーアイクラウド株式会社  
(伊藤忠商事100%出資会社)  
代表取締役社長  
**清原 延高** さま

自らの可能性を信じる力を育て、挑戦し続けよう！

海外での経験を通じて、語学力や商売の感度以上に自己肯定感の重要性を痛感しました。自己肯定感を通じて積極性や挑戦心が生まれ、高い目標の達成に粘り強く取り組む姿勢につながります。また、リーダーシップやイニシアチブを取ること、失敗からの回復力、コミュニケーションの質にも良い影響を与えます。共創学環での学びを通じて、自らの可能性を信じる力を育ててください。大学のリソースを活用し、大きな一歩を踏み出しましょう。



**金岡 省吾 教授**  
Shogo KANAOKA

**専門分野**  
ランドスケープ  
(環境農学、  
地域づくり)

地域の特長的な発展には、多様な主体(産学官金)が共創しながら課題に取り組むことが求められます。理論と実践を融合させる、シンクタンクで獲得した、専門領域と社会科学の知を活用する文理融合アプローチを通じて、次世代のリーダーとなる人材の育成にも力を入れ、人口減少時代の地域づくりをマネジメントしています。



**鹿嶋 洋 教授**  
Hiroshi KASHIMA

**専門分野**  
経済地理学、  
産業地域論

共創学際では実践教育として地域でのフィールドワークを重視しています。地域を良くするには地域をより深く理解する必要がある。地理学の考え方やフィールドワークの技法が大いに役立ちます。私は経済地理学の立場から、地域の仕事(産業)と暮らしの関わりについて研究しています。地域に分け入り、共に学びましょう。



**矢原 隆行 教授**  
Takayuki YAHARA

**専門分野**  
臨床社会学、  
ダイアログ実践

聞くこと、話すこととしての会話が虚しいモノログに占拠されてしまわれないために、私たちはいかなる「間」と「場」を創出していくことができるでしょうか。人と人、組織・機関間、コミュニティの内と外で生きた、世界を制作していく行為でもあります。いろいろな視点から、ことばについて一緒に考えましょう。



**佐川 祥予 准教授**  
Sachiyu SAGAWA

**専門分野**  
日本語教育学、  
ナラティブ分析、  
ライフストーリー研究

ことばって何だろう? コミュニケーションするのは何のため? 当たり前だと思っていることや身近なことを考えるのは、実は、けっこう難しいです。ことばを使うことは、他者との関係をつくるだけではなく、自己を形成し、また、世界を制作していく行為でもあります。いろいろな視点から、ことばについて一緒に考えましょう。



**上土井 宏太 准教授**  
Kota JODOI

**専門分野**  
ディベート教育、議論学、  
英語教育学

現在の専門はディベート教育ですが、学部・修士は応用化学を専攻していたので、文理両方の視点から研究を行っており、幅広く、議論教育、ディベートを用いた英語教育などを扱っています。学生の皆さんにディベート、議論の面白さを伝えて、一緒に学び合うことを楽しんでいます。



**崔 相振 准教授**  
Sangjin CHOI

**専門分野**  
韓国語教育、  
異文化コミュニケーション、  
韓国現代文化

言語は人と人をつなぐ不思議な力があります。また、グローバルな視点で考え行動するためには語学力は欠かせない武器となります。可能性に満ちた魅力あるキャンパスで留学生と触れ合いながら、韓国語を体系的に学び、韓国文化に多く触れ、異文化理解や異文化コミュニケーション力を身につけましょう。



**大藪 亮 教授**  
Akira OYABU

**専門分野**  
マーケティング  
マーケティング

マーケティング論は、「なぜあの会社は魅力的な製品を生み出せるのか?」や「どうして私たちは「J」字を暮らしに慣れたのか?」といった、身近な疑問を解き明かす手がかりを提供してくれる、楽しい奥深い学問です。身近な日常の中に隠れたビジネスの仕組みや消費者の心理を理解する面白さを体験してみてください。



**平野 順也 教授**  
Junya HIRANO

**専門分野**  
コミュニケーション学、  
修辞学

専門はコミュニケーション、特に修辞学(レトリック)です。コミュニケーション関係でも、特に暴力や死といった暗く重いテーマに興味があります。最近ではジェンダーやポップカルチャーについても研究しています。



**小池 ウルスラ ヘレナ 教授**  
Helena Ursula KOIKE

**専門分野**  
歴史学、  
グローバル教育

現代のグローバル化が進む社会において、多様な文化や価値観を理解する力を養い、歴史の多層的なつながりを認識すること、国際協力や共生のために不可欠な能力です。貿易、戦争、移民、宗教、技術革新などがどのように地球規模で影響し合ってきたのか、グローバルな視点で歴史学を学んでみませんか。



**山口 智哉 准教授**  
Tomoya YAMAGUCHI

**専門分野**  
宋代史、台湾史、記憶と場所

私が目指しているのは「場所をつくる」ことです。現在、恐ろしいスピードで「場所」が消失し、そこに宿る「記憶」が失われつつあります。いまいちど記憶をかき集めて物語を編み、空間に埋め込むことで場所を創造し、地域や国を超えた人々と共有できれば、場所を永続させることができると考え、場所を一緒につくってみたいと思いませんか?



**西川 里織 准教授**  
Saori NISHIKAWA

**専門分野**  
社会心理学、発達心理学、  
医療心理学

社会心理学は、集団や社会生活における人間の本質と行動の本質を探る学問です。私は、地域や日本、さらにはグローバルな視点から世界全体を見渡し、人々の心の動きに関心をもち、その複雑に絡み合った社会問題を解きほぐし、その解決策を共に考えていきたいと思います。



**石原 明子 准教授**  
Akiko ISHIHARA

**専門分野**  
紛争変容・平和構築学、  
医療福祉政策

「対立や葛藤から未来を拓く」紛争変容・平和構築学を専門としています。グローバルそしてローカルな社会課題や平和の課題に共に向き合い、対話やアートをを用いてよりよい未来を共に創り上げる方法を実践的に学びましょう。環境、平和、少子高齢化、サステイナビリティに関心のある方、集まれ!



**キタイン アルマンド テイギン 教授**  
Quito Armando Tibigin

**専門分野**  
化学工学、マイクロ波科学、  
超臨界流体、  
カーボン系触媒、バイオマス

私の専攻は化学工学で、膨大なバイオマスを資源をグリーンかつ持続可能な形で利用し、有用な化学物質や燃料を生産するための研究を行っています。これらのアプローチがどのようなように持続可能性に貢献し、社会を革新できるのか、一緒に学びましょう。



**尾山 真 准教授**  
Makoto OYAMA

**専門分野**  
ランドスケープ  
(環境農学)、  
キャリア開発

ランドスケープとキャリア形成を専門に、地方創生に取り組んでいます。地域での持続的な取組には、自分の興味や得意を活かすことが重要です。それぞれの強みを生かしながら、地域課題の解決に挑戦し、未来を創りましょう。一人ひとりの抱いた地域への力となり、新しい可能性を生み出します。



**山口 佳宏 准教授**  
Yoshihiro YAMAGUCHI

**専門分野**  
安全学、化学安全教育、  
酵素化学、  
生物資源化学

化学を基盤として、生体のタンパク質や酵素に関する実験・研究、また安全学その他の教育法について研究しています。さらに化学安全に関するベンチャー企業も経営しています。様々なリスクを見つけ、評価し、対策を施せるように安全や生物資源について研究し、持続可能な人間社会の構築に貢献したいと考えています。



**シムズ ランダー ブライアント 講師**  
Lander Bryant Sims

**専門分野**  
教育技術

国際的な環境で働くにはどのようなスキルが必要だと考えますか? 語学力はもちろんのこと、異文化理解、適応力、柔軟性、感情的知性も必要不可欠なスキルです。私と一緒に、国内外の留学生と直接学び、将来に役立つスキルを磨きましょう。



**ハリ プラサデ デブコタ 助教**  
Hari Prasad Devkota

**専門分野**  
リーダーシップ教育、  
科学コミュニケーション、  
異分野教育、医療政策

リーダーシップ教育と異分野教育を基盤とし、革新的かつ異文化間のアプローチを通して、複雑な地球規模の課題を解決するための重要なスキルを習得します。そして、様々な分野にわたる持続可能なイノベーションを創出できる未来のリーダーを育成します。



**イアン アイズマンガー 教授**  
Ian ISEMONGER

**専門分野**  
教師教育、応用言語学、第二言語習得、英語教育、  
心理測定学、異文化コミュニケーション

私は英語教育を専門とし、大学院レベルでの教師教育にも関わっています。英語教育、教授法、カリキュラム設計、第二言語習得、統計的方法論、心理測定学、異文化コミュニケーションを教え、研究しています。また、アクティブ・ラーニングやAI(特にLLMベースのチャットボット)の言語学習への応用、デジタル人文学、学際的知識生産にも取り組んでいます。

上記教員の他、文学部、理学部、工学部等の教員が参画します。さらに、国内外の企業・自治体・金融機関・教育機関等で活躍する人や起業者・経営者等が外部講師として授業を担当します。

卒業後の進路(想定)

卒業後の進路として、以下のような幅広い分野の進路先を想定しています。



企業・自治体からのメッセージ

私たち熊本県内外の自治体は、熊本大学と連携し、ローカルイノベーション育成を目指す未来創造塾の取組を通じ、地域課題の解決に取り組んできました。「共創学環」の学生の皆さんにも、地域フィールドを提供し、実践を通じ、地域課題解決力の強化が地域の魅力を高め、新たな価値を生み出し、地方への新たな人の流れを創出する環境を整えたいと思います。

学生の皆さんは、共に未来を築く仲間と考え、次世代の人材育成を全力で支えていきます。

一緒に、地域の未来を創造していきましょう！  
入学、そして各地域での活動を楽しみにしています。



天草市長  
**馬場 昭治** さま  
地域の若者たちが動き始め、未来を築く力を感じています。サテライト演習拠点を整備し、共創学環に協力してまいります。



阿蘇地域振興センター理事  
**渡邊 誠次** さま  
学生の皆さんには、阿蘇全体をより実践的な学びの場として活用してもらいたい。



玉名市長  
**藏原 隆浩** さま  
玉名をフィールドにして地元の人と共に地域課題解決や未来を構築できる人になってもらいたい。



菊池市長  
**江頭 実** さま  
地域課題解決にはグローバルな知恵が不可欠。一緒に地域で活躍するためにも、グローバルな経験を重ねてほしい。



山鹿市長  
**早田 順一** さま  
学生の皆さんには自治体の実践の場にどなたも出てきてほしい。そして地域の未来を共に創ってほしい。



和歌山県田辺市長  
**真砂 充敏** さま  
地域を思い、挑戦し続けるプレーヤーに是非なっていたいただきたい。



八代市長  
**中村 博生** さま  
未来創造塾との連携により、共創学環の拠点となる「新しい学びの場」を八代に作ってまいります。



熊本経済同友会 代表理事  
**笠原 慶久** さま

共創学環から未来へはばたく皆さんへ向け

熊本経済同友会を代表して、「共創学環」に挑む皆さんへ心からエールを送ります。  
熊本は成長の可能性を広げる一方で、人口減少や地域間格差といった課題に直面してまい、自らのパース(存在意義)を深く見つめることで、自身の成長はもとより地域課題解決につながる能力を習得されることを期待しています。私たちと共に、地域社会の未来に向けた挑戦に踏み出し、熊本から新しい価値を創造していきましょう！



熊本県信用保証協会 会長  
**田嶋 徹** さま

共創学環を選び、将来、社会イノベーションを担う挑戦者たちへ

今、地域金融の世界では単に融資にとどまらず、事業者への経営支援を行うことが強く求められています。地域課題をビジネスで解決する事業者を育成・サポートすることは、地域経済への貢献につながります。  
共創学環では、実際の社会課題の解決に取り組む産学官金の研究者や実務者から、各分野の生の声を聴き、自らの実践力を高めることができま。是非、共創学環の4年間を経て、地域経済をリードするよう人材になられることを期待します。



NTT西日本 サービスエンジニアリング部 DXリテラサイ室長  
**浦川 秀明** さま

「共創学環」の学びを基に、地域から全国、世界へ飛び立とう！

多くの日本企業が、事業領域・技術領域を横断した企業変革・DX(デジタルトランスフォーメーション)に注目する今、熊本大学が掲げる「越境人材育成」の取組は注目に値します。地域課題を起る点に、AIやロボティクスに代表される先端技術をグローバルに探索し、その課題解決や新しい価値を創出できる人材はまだ不足しています。「共創学環」での学びを基に、地域から全国、そして世界へ飛翔しましょう。



株式会社JTB 支店長 熊本支社  
**阿部 敬行** さま

地域の魅力を発見し新たな価値へ。共に挑戦し、サステナブルな社会を創ろう！

JTBは「交流創造」を通じて、人と地域が交わる未来を描いています。「共創学環」での学びを通じ、地域の魅力を発見し、それを新たな価値へと変える挑戦に期待しています。皆さんの行動が地域を活性化し、社会を発展させる原動力となるでしょう。共にサステナブルな未来を創りましょう。

企業・自治体からのメッセージ

私たち熊本県内外の自治体は、熊本大学と連携し、ローカルイノベーション育成を目指す未来創造塾の取組を通じ、地域課題の解決に取り組んできました。「共創学環」の学生の皆さんにも、地域フィールドを提供し、実践を通じ、地域課題解決力の強化が地域の魅力を高め、新たな価値を生み出し、地方への新たな人の流れを創出する環境を整えたいと思います。

学生の皆さんは、共に未来を築く仲間と考え、次世代の人材育成を全力で支えていきます。

一緒に、地域の未来を創造していきましょう！  
入学、そして各地域での活動を楽しみにしています。



天草市長  
**馬場 昭治** さま  
地域の若者たちが動き始め、未来を築く力を感じています。サテライト演習拠点を整備し、共創学環に協力してまいります。



阿蘇地域振興センター理事  
**渡邊 誠次** さま  
学生の皆さんには、阿蘇全体をより実践的な学びの場として活用してもらいたい。



玉名市長  
**藏原 隆浩** さま  
玉名をフィールドにして地元の人と共に地域課題解決や未来を構築できる人になってもらいたい。



菊池市長  
**江頭 実** さま  
地域課題解決にはグローバルな知恵が不可欠。一緒に地域で活躍するためにも、グローバルな経験を重ねてほしい。



山鹿市長  
**早田 順一** さま  
学生の皆さんには自治体の実践の場にどなたも出てきてほしい。そして地域の未来を共に創ってほしい。



和歌山県田辺市長  
**真砂 充敏** さま  
地域を思い、挑戦し続けるプレーヤーに是非なっていたいただきたい。



八代市長  
**中村 博生** さま  
未来創造塾との連携により、共創学環の拠点となる「新しい学びの場」を八代に作ってまいります。

自分の考えを持ち、行動し、仲間と創る力が未来をきりひらく

自衛人材、それこそがいま求められている。痛感したきっかけは、入社4年目で経験した米国本社勤務でした。異国の地での業務は、常に自己の意見を持つこと、自ら考え行動すること、そして周囲を巻き込みながら物事を最後までやり遂げる力が求められる毎日でした。共創学環で過ごす日々にも同様の姿勢が求められると思いますが、共創を通じて新しい価値を生み出す経験は、未来の社会で活躍するための重要な基盤を築くものだと信じております。



アサヒビール株式会社 広域営業本部 営業担当  
**佐野 恭兵** さま

共創学環での経験を、自分の魅力を高めるチャンスに

あなたから買います。それが営業の醍醐味。扱っている商品は同じ。知識や技術も必要だが、最後は「人」。商品力+α「あなただから」と自分を選んでもらうことが、製品を手に取り、好きになるきっかけとなるはず。そうありたいと日々考え、営業をしています。あなたが共創学環で得る経験を、自分という商品価値を高める時間にどんどん活用して欲しいです。そしてどんな分野でも活躍できる「人財」になることを願っています。



富士電機株式会社 半導体事業本部 営業統括部  
**西村 憲治** さま

自分の想いを正確に伝え、人を動かす力を磨こう！

学生の皆様が共創学環での学びを通じて、様々な人を動かす力を培われることを期待しています。世界各国の仲間やお客様との協業には、語学力だけでなく客観的な情報に基づく意思伝達が重要だと日々感じます。大きな事業であるほど関わる相手は増え、立場も様々になるので、依頼や主張の際は意図や根拠を正確に伝える能力が求められます。自分の想いを客観的に表現し、仲間や経営を共に動かしていく人財を弊社は探しています。



ジーアイクラウド株式会社 (伊藤忠商事100%出資会社) 代表取締役社長  
**清原 延高** さま

自らの可能性を信じる力を育て、挑戦し続けよう！

海外での経験を通じて、語学力や商売の感度以上に自己肯定感の重要性を痛感しました。自己肯定感を通じて積極性や挑戦心が生まれ、高い目標の達成に粘り強く取り組む姿勢につながります。また、リーダーシップやイニシアチブを取ること、失敗からの回復力、コミュニケーションの質にも良い影響を与えます。共創学環での学びを通じて、自らの可能性を信じる力を育ててください。大学のリソースを活用し、大きな一歩を踏み出しましょう。

## 企業・自治体等を対象としたアンケート調査 集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

## Q1. 貴社・貴機関の本社等の所在地について

選択項目		回答数	構成比
1	熊本県	80	52.6%
2	福岡県	16	10.5%
3	関東地方	13	8.6%
4	近畿地方	12	7.9%
5	中部地方	9	5.9%
6	宮崎県	4	2.6%
7	佐賀県	2	1.3%
8	長崎県	2	1.3%
9	鹿児島県	1	0.7%
10	大分県	1	0.7%
11	その他	12	7.9%
合計		152	100.0%

## Q2. 貴社・貴機関の主たる業種について

選択項目		回答数	構成比
1	公務	37	24.3%
2	製造業	25	16.4%
3	建設業	17	11.2%
4	医療、福祉	14	9.2%
5	情報通信業	11	7.2%
6	卸売業、小売業	7	4.6%
7	その他サービス業	6	3.9%
8	宿泊業、飲食サービス業	6	3.9%
9	学術研究、専門・技術サービス業	5	3.3%
10	不動産業、物品賃貸業	5	3.3%
11	運輸業、郵便業	3	2.0%
12	金融業、保険業	3	2.0%
13	生活関連サービス業、娯楽業	3	2.0%
14	農業、林業、漁業、鉱業	3	2.0%
15	教育、学習支援	2	1.3%
16	電気・ガス・熱供給、水道業	1	0.7%
17	その他	4	2.6%
合計		152	100.0%

## Q3. 貴社・貴機関の従業員数・職員数について

選択項目		回答数	構成比
1	50名未満	47	30.9%
2	50～100名未満	20	13.2%
3	100～300名未満	28	18.4%
4	300～1,000名未満	28	18.4%
5	1,000～3,000名未満	14	9.2%
6	3,000～10,000名未満	8	5.3%
7	10,000名以上	7	4.6%
合計		152	100.0%

## Q4. 貴社・貴機関の名称について 【省略】

ここからは、別添の共創学環(仮称)リーフレットをご覧の上、お答えください。

Q5. 熊本大学共創学環(仮称)は、「地球規模の視野と地域の視点で考え行動し、共生共創する地域をデザインできる課題発見・設定・解決型人材並びに社会イノベーションを創出する人材」の養成を目的としていますが、社会的なニーズ(必要性)についてお答えください。

選択項目		回答数	構成比
1	ニーズは極めて高い	59	38.8%
2	ニーズはある程度高い	73	48.0%
3	ニーズはあまり高くない	4	2.6%
4	ニーズは高くない	4	2.6%
5	わからない	12	7.9%
合計		152	100.0%

Q6. 熊本大学共創学環(仮称)には以下のような特色があります。あなたが魅力を感じるものすべてを選択してください。(複数回答可)

選択項目		回答数	構成比
1	複数学部の協力による分野横断・文理融合型の学修	62	15.3%
2	産学官金と連携し課題解決に取り組む社会実践教育	100	24.6%
3	持続可能な社会に必要な経営・マネジメント教育	91	22.4%
4	実践的な語学力・プレゼン・ディベート力を高めるコミュニケーション実践教育	81	20.0%
5	データサイエンスの素養を身に付けるデジタル活用実践教育	72	17.7%
合計		406	100.0%

Q7. 熊本大学共創学環(仮称)が養成する人材を採用したいと思いますか。

選択項目		回答数	構成比
1	採用したい	99	65.1%
2	わからない	52	34.2%
3	採用したくない	1	0.7%
合計		152	100.0%

Q8. 問7で「採用したい」とした場合、現時点の見通しとして採用可能人数(単年度)をお答えください。「採用したくない」又は「わからない」とした場合は、「該当なし」を選択してください。

選択項目		回答数	構成比
1	1名	44	44.4%
2	2名	25	25.3%
3	3名	4	4.0%
4	4名	2	2.0%
5	5名以上	13	13.1%
6	該当なし	11	11.1%
合計		99	100.0%

令和7年 3月 6日

人事・採用ご担当者 様

国立大学法人熊本大学

理事・副学長（新学環設置準備室長）

水元 豊文

令和8年度新設・改組予定学部に関するアンケート調査へのご協力について（依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育研究活動につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学では、令和8年4月に新たな学部相当組織として「共創学環（仮称）」の新設並びに文学部の一学科改組を予定しております。詳しくは、別添のリーフレットをご高覧ください。

現在、共創学環の設置及び文学部の改組に向けて、文部科学省への設置申請手続きを進めているところであり、申請に際して、当該教育組織が社会的・地域的なニーズや人材需要の動向を踏まえたものであることを示すため、教育内容や卒業生の採用について、ご意見・ご意向等をお伺いさせていただきたく存じます。

つきましては、ご多忙の折、誠に恐縮ですが、下記 URL（QR コード）により、アンケートにご回答くださいますようお願い申し上げます。

なお、アンケートで得られた回答内容は、統計資料としてのみ利用し、企業・自治体名等が掲載される形で公表することはございません。

敬具

記

【アンケートフォーム URL（QR コード）】

[https://www.ocans.jp/kyousou-kumamoto/enquete?eid=afq\\_Z\\_CK](https://www.ocans.jp/kyousou-kumamoto/enquete?eid=afq_Z_CK)



**※大変恐縮ですが、令和7年3月31日（月）までにご回答いただきますようお願いいたします。**なお、期限までの回答が難しい場合は、下記担当へ遠慮なくご連絡ください。

※参考として、アンケート項目を添付しております。

※ご回答にあたっては、1機関あたり1回の回答をお願いいたします。

## 熊本大学 共創学環（仮称）、文学部人文科学科（仮称）に関するアンケート

熊本大学では、2026年4月開設に向けて、「共創学環（仮称）」「文学部人文科学科（仮称）」の設置計画を構想中です。リーフレットをご覧いただき、教育内容や養成する人材の採用意向に関する調査にご協力願います。なお、調査結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。なお、設置計画は予定であり、今後変更となる可能性があります。

問1. 貴社・貴機関の本社等の所在地について、該当するもの1つをご回答ください。（必須）

熊本県	福岡県	佐賀県	長崎県	大分県	宮崎県
鹿児島県	関東地方	近畿地方	中部地方	その他 <input type="text"/>	

問2. 貴社・貴機関の主たる業種について、最もあてはまるもの1つをご回答ください。（必須）

農業、林業、漁業、鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給、水道業	情報通信業	運輸業、郵便業
卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業
教育、学習支援	医療、福祉	その他サービス業	公務	その他 <input type="text"/>	

問3. 貴社・貴機関の従業員数・職員数について、あてはまるもの1つをご回答ください。（必須）

50名未満	50～100名未満	100～300名未満	300～1,000名未満
1,000～3,000名未満	3,000～10,000名未満	10,000名以上	

問4. 差し支えなければ、貴社・貴機関の名称をご記入ください。（ご回答は任意です。）

ここからは、別添の共創学環（仮称）リーフレットをご覧の上、お答えください。

問5. 熊本大学共創学環（仮称）は、「地球規模の視野と地域の視点で考え行動し、共生共創する地域をデザインできる課題発見・設定・解決型人材並びに社会イノベーションを創出する人材」の養成を目的としていますが、社会的なニーズ（必要性）についてお答えください。（必須）

ニーズは極めて高い	ニーズはある程度高い	ニーズはあまり高くない	ニーズは高くない	わからない
-----------	------------	-------------	----------	-------

問6. 熊本大学共創学環（仮称）には以下のような特色があります。あなたが魅力を感じるものすべてを選択してください。（複数回答可）（必須）

複数学部の協力による分野横断・文理融合型の学修	産学官金と連携し課題解決に取り組む社会実践教育
持続可能な社会に必要な経営・マネジメント教育	実践的な語学力・プレゼン・ディベート力を高めるコミュニケーション実践教育
データサイエンスの素養を身に付けるデジタル活用実践教育	

問7. 熊本大学共創学環（仮称）が養成する人材を採用したいと思いますか。（必須）

採用したい	採用したくない	わからない
-------	---------	-------

問8. 問7で「採用したい」とした場合、現時点の見通しとして採用可能人数（単年度）をお答えください。「採用したくない」又は「わからない」とした場合は、「該当なし」を選択してください。（必須）

1名	2名	3名	4名	5名以上	該当なし
----	----	----	----	------	------

ここからは、別添の文学部人文科学科（仮称）リーフレットをご覧ください。

問9. 熊本大学文学部人文科学科（仮称）は、「創造的な知性をもって自ら課題を発見し解決する実践的な能力及び現代を生きる人間に必要なグローバルな視野と市民的公共心を備え、他者と共有、共感しあい、社会や心の豊かさを探求することができる人材」の養成を目的としていますが、社会的なニーズ（必要性）についてお答えください。（必須）

ニーズは極めて高い	ニーズはある程度高い	ニーズはあまり高くない	ニーズは高くない	わからない
-----------	------------	-------------	----------	-------

問10. 熊本大学文学部人文科学科（仮称）には以下のような特色があります。あなたが魅力を感じるものすべてを選択してください。（複数回答可）（必須）

9コース、21という多彩な教育研究領域による分野横断的な学び	1年次の幅広い学びを踏まえ、2年次に専門コースを決定する柔軟なコース選択
授業やフィールドワークを通じ、現代社会に対応した実践的教育	個々の学生の関心に応じる少人数教育
総合的なメディア・リテラシー教育	

問11. 熊本大学文学部人文科学科（仮称）が養成する人材を採用したいと思いますか。（必須）

採用したい	採用したくない	わからない
-------	---------	-------

問12. 問11で「採用したい」とした場合、現時点の見通しとして採用可能人数（単年度）をお答えください。「採用したくない」又は「わからない」とした場合は「該当なし」を選択してください。（必須）

1名	2名	3名	4名	5名以上	該当なし
----	----	----	----	------	------

熊本大学共創学環（仮称）、文学部人文科学科（仮称）に対して期待される点やご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

送信確認

## アドミッション・ポリシー（抜粋）

求める学生像

- 地域社会から国際社会に至る様々な課題解決に貢献し、社会イノベーションを担うことができる次のような人を求めます。
1. 地域社会から国際社会に至る様々な課題の解決に関心をもち、新しい価値創出に挑戦しようとする意欲が高い人
  2. 課題解決に必要な知識や技能を主体的に探究し、身に付けようとする意欲が高い人
  3. 背景や考え方が異なる人と進んで協力し、共に問題の解決に取り組むことへの強い意欲を持っている人
  4. 営利・非営利を問わず、組織体の経営や起業することに深い関心を持っている人
  5. 語学力（英語、中国語、韓国語等）を高め、外国語によるコミュニケーション力を身に付けようとする意欲が高い人

## 入試情報 他（予定）

入学定員：80名・学位：学士（学術）

募集人員		選抜方式
40	一般選抜	前期日程（※1） Kumamoto探究入試（※1）
25	総合型選抜	国際バカロレア入試（※2） 海外在住者対象（※2） 帰国生徒対象（※2） 私費外国人留学生対象（※2）
15	学校推薦型選抜 I（※2）	学校推薦型選抜 I（※2）

※1 大学入学共通テストを課す ※2 大学入学共通テストを課さない

## 学生納付金（令和6年度現在）

入学料（予定額）	282,000円	授業料（予定額）	年額535,800円（半期267,900円）
----------	----------	----------	------------------------

※授業料の改定が行われた場合には、改定時から新しい授業料が適用されます



熊本大学黒髪キャンパスまでのアクセス

- 飛行機（阿蘇くまもと空港まで）  
東京から——約2時間  
名古屋から——約1時間30分  
大阪から——約1時間30分  
※ 熊本市内への移動は、空港リムジンバスを利用
- 新幹線（JR熊本駅まで）  
新大阪駅から——約3時間  
博多駅から——約3.5～5.0分
- バス  
JR熊本駅から：産交バス「楠田地」または「光の森産交」行き（桜町バスターミナル経由）乗車  
熊本大学前「下車」  
桜町バスターミナルから：産交バス「楠田地」または「光の森産交」行き乗車「熊本大学前」下車



## 新学環設置準備室

〒860-8555 熊本市中心区黒髪2-39-1  
TEL:096-342-2309, 2031, 2032  
E-mail: kyoso-gakkan@jimu.kumamoto-u.ac.jp  
https://www.kumamoto-u.ac.jp/

つなぐ、  
ひろがる、  
きりひらく

## 共創学環

School of Social Innovation  
(仮称)

令和8年4月開設予定



# つなぐ、ひろがる、きりひらく

激動。それが、キミが生きてきた時代。そして、生きていく時代だ。地域も、ビジネスも、国際社会も、目まぐるしく変化する。驚くほどのスピードとスケールで。大事なものは、それを楽しめるかどうか。キミ次第だ。「共創学環」は、そのための舞台。まわりには、ともに歩む仲間もいる。大学の中だけに留まらなくていい。夢中で進めば、目の前の世界がパツとひらけてくる。どんなに大きな壁があっても、突破口はかならず見つかるだろう。その先に新しい社会を創れるはずだ。さあ、未知なる舞台へ踏み出そう。キミが向かう先に、まっすぐに道はのびている。

## 共創学環（仮称）

### 地域から、世界から、社会課題を解決する人へ。

地域社会から国際社会まで、現代には早期解決が困難な課題が数多く存在します。これらを解決し、持続可能な社会を創るためには、社会を構成する多数の人たちと共に協力して大きな力を生み出すことが重要です。2026年、本学は学部に対応する組織として『共創学環』を設置します。身に付くのは、文理融合の学際的な専門知識・多面的な思考力はもちろん、経営・マネジメント力、国際的なコミュニケーション力、データサイエンス力、そして身に付けた能力を実社会で活かす実践力。地球規模の視野と地域の視点で考え行動し、共生共創する地域をデザインできる課題発見・設定・解決型人材並びに社会イノベーションを創出する人材を養成します。



#### 地域イノベーションコース

自治体、企業等の課題解決について実地研修を通して学び、人と地域環境に働きかけることで共生共創社会を創成していくための環境を整備するコーディネート力およびその課題解決能力を身に付けます。



#### グローバルイノベーションコース

海外での活動等を通じて、異なる価値観の人々や多様な文化・専門分野の人々と連携して職務を遂行するために必要な教養を学び、地域間の課題をグローバルに解決する能力を身に付けます。

### 産学官金連携実践教育

民間企業(産)、教育・研究機関(学)、政府・地方自治体(官)、金融機関(金)の研究者・実務家を招いた授業。実際に社会課題の解決に取り組む方々から経営・マーケティングをダイレクトに学び、実践力を高めます。

#### 経営・マネジメント力 社会実践力

共創プロジェクト演習Ⅰ,Ⅲ,Ⅳ / 地域共創プロジェクト演習 / グローバル共創プロジェクト演習 / 経営戦略論 / マーケティング論 / ローカルイノベーション育成論Ⅰ,Ⅱなど

- 社会実践演習・海外研修
- 産学官金連携
- 経営・マーケティング

### コミュニケーション実践教育

英語・中国語・韓国語等の実践的な語学力と、対話の軸となるプレゼン・ディベート力を高める授業。世界に通用するコミュニケーションを学び、様々なトラブルの解決や協力を集める能力を高めます。

#### コミュニケーション力 外国語運用力

ロジカルシンキング・クリティカルシンキング / 総合実践英語、中国語、韓国語 / リーダーシップスキル / 社会心理学 / ディベート入門、アドバンスド・ディベート / ディアローグ実践Ⅰ,Ⅱなど

- 実践英語・中国語・韓国語
- 心理学・ロジカルシンキング
- ディベート・ディアローグ

## 共創学環

#### 学際的な専門知識 多面的な思考力

経済地理学 / 地域経済論 / まちづくり入門 / 防災・減災入門 / くまもと流域圏の自然と生物多様性 / 韓国語現代文化論 / 現代台湾研究 / 地域社会学概論ⅠⅡ / 文化史概論Ⅰ,Ⅱなど

- 自然科学・生命科学
- 経済公共政策
- 多文化共生 総合人間歴史

### 文理融合型教育

文学部、法学部、理学部、工学部、熊本創生推進機構など、各分野のプロフェッショナルによる授業。文・理の両方を学ぶことで、ものごとを多面的に捉える力を養い、社会課題の発見・解決する能力を高めます。

#### データサイエンス力

社会課題解決のためのデータサイエンス基礎 / データマイニング入門 / 社会課題解決のためのデータサイエンス応用 / データマイニング実践 / ビジネス統計学 / 企業から学ぶICT・DX活用論 など

- 課題設定
- データ収集
- データ分析

### デジタル活用実践教育

統計学や機械学習、プログラミングの理論を活用したデータの収集・解析方法を学ぶ授業。膨大なデータから有益な洞察を導き出すノウハウを学び、社会イノベーションを創り出す企画提案力を高めます。

## 地球規模の視野と地域に根ざした視点、 文理の知を融合し、周囲を巻き込み 持続可能な社会を共に創り出す人材へ。

